

---

やまなし人口減少危機対策基礎調査（経済要因）  
アンケート調査結果

---

## 第1章 アンケート調査

### 1-1 調査概要

#### (1) 調査概要

調査名	やまなし人口減少危機対策調査の経済的要因に関するアンケート
調査目的	本県における子育て世代（未婚者、既婚者）の経済的負担の実態や出生率上昇（未婚者においては婚姻促進、既婚者においては理想の子どもの実現）を阻害する経済的要因を把握することで、今後の出生率上昇に寄与する施策立案に有効な情報を収集するため
調査期間	2024年2月15日(木)～26日(月)
調査対象	子育て世代（18-39歳）の山梨県民 303人
調査方法	Web アンケート調査（調査会社の登録モニターに回答を依頼）

#### (2) 調査項目

問番号	分類	形式	回答対象				質問	
			婚姻状況		返済状況			他条件
			未婚	既婚	奨学金	住宅ローン		
SC1	基本属性	NA	○	○			年代	
SC2		SA	○	○			性別	
SC3		SA	○	○			住民票	
SC4		SA	○	○			婚姻状況	
SC5		MA	○	○	○	○	返済状況	
SC6		SA	○	○			年収	
SC7		SA	○	○			貯蓄額	
SC8		SA/FA	○	○			世帯構成	
Q1	婚姻促進	SA	○				婚姻意思	
Q2		MA/FA	○				未婚理由	
Q3		SA	○				経済的負担（現状）	
Q4		SA	○				経済的要因による婚姻意思への影響	
Q5		SA	○				Q4「1,2,3」回答 経済的負担（将来の不安）	
Q6		SA	○				Q4「1,2,3」回答 婚姻相手	
Q7		SA	○				Q4「1,2,3」回答 理想子ども数	
Q8		SA		○			世帯年収	

問番号	分類	形式	回答対象				質問	
			婚姻状況		返済状況			他条件
			未婚	既婚	奨学金	住宅ローン		
Q9	出生率上昇	SA		○				子どもの有無
Q10		NA		○			Q9「2,3,4,5」回答	子どもの年齢
Q11		SA		○			Q11-18以降はQ9「2,3,4,5」回答	家計の状況（現状）
Q12		SA		○				予定している子どもの人数
Q13		SA		○				理想的な子どもの人数
Q14		SA		○				理想の子ども人数を持つうえで経済的負担の影響
Q15		SA		○				家計の状況（将来の不安）
Q16		奨学金	SA	○	○	○		
Q17	SA		○	○	○			借入総額
Q18	SA		○	○	○			毎月返済額
Q19	SA		○	○	○			返済期間
Q20	SA		○	○	○			施策貢献度
Q21	住宅関係	SA	○	○				支出
Q22		SA	○	○				家賃
Q23		SA	○	○		○		住宅ローン総額
Q24		SA	○	○		○		住宅ローン毎月支払額
Q25		SA	○	○		○		住宅ローン金利形態
Q26		NA	○	○		○		住宅ローン金利
Q27		NA	○	○		○		住宅ローン返済期間
Q28		SA/FA	○	○				意欲
Q29		SA	○	○				施策貢献度
Q30		自由意見	FA	○	○			

(3) 回答者の内訳

婚姻状況	性別	18-19歳		20-24歳		25-29歳		30-34歳		35-39歳		小計	
	(内訳) 返済状況	数	構成比	数	構成比	数	構成比	数	構成比	数	構成比	数	構成比
未婚者	全体	5	1.7%	29	9.6%	21	6.9%	44	14.5%	45	14.9%	144	47.5%
	奨学金	3	1.0%	15	5.0%	7	2.3%	15	5.0%	7	2.3%	47	15.5%
	住宅ローン	0	0.0%	0	0.0%	2	0.7%	2	0.7%	0	0.0%	4	1.3%
	男性	1	0.3%	12	4.0%	5	1.7%	28	9.2%	25	8.3%	71	23.4%
	奨学金	1	0.3%	7	2.3%	2	0.7%	11	3.6%	4	1.3%	25	8.3%
	住宅ローン	0	0.0%	0	0.0%	2	0.7%	2	0.7%	0	0.0%	4	1.3%
	女性	4	1.3%	17	5.6%	16	5.3%	16	5.3%	20	6.6%	73	24.1%
	奨学金	2	0.7%	8	2.6%	5	1.7%	4	1.3%	3	1.0%	22	7.3%
	住宅ローン	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
既婚者	全体	0	0.0%	4	1.3%	18	5.9%	48	15.8%	89	29.4%	159	52.5%
	奨学金	0	0.0%	3	1.0%	8	2.6%	14	4.6%	13	4.3%	38	12.5%
	住宅ローン	0	0.0%	0	0.0%	7	2.3%	29	9.6%	67	22.1%	103	34.0%
	男性	0	0.0%	0	0.0%	2	0.7%	17	5.6%	43	14.2%	62	20.5%
	奨学金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	2.3%	5	1.7%	12	4.0%
	住宅ローン	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%	10	3.3%	29	9.6%	40	13.2%
	女性	0	0.0%	4	1.3%	16	5.3%	31	10.2%	46	15.2%	97	32.0%
	奨学金	0	0.0%	3	1.0%	8	2.6%	7	2.3%	8	2.6%	26	8.6%
	住宅ローン	0	0.0%	0	0.0%	6	2.0%	19	6.3%	38	12.5%	63	20.8%
合計	全体	5	1.7%	33	10.9%	39	12.9%	92	30.4%	134	44.2%	303	100.0%
	奨学金	3	1.0%	18	5.9%	15	5.0%	29	9.6%	20	6.6%	85	28.1%
	住宅ローン	0	0.0%	0	0.0%	9	3.0%	31	10.2%	67	22.1%	107	35.3%
	男性	1	0.3%	12	4.0%	7	2.3%	45	14.9%	68	22.4%	133	43.9%
	奨学金	1	0.3%	7	2.3%	2	0.7%	18	5.9%	9	3.0%	37	12.2%
	住宅ローン	0	0.0%	0	0.0%	3	1.0%	12	4.0%	29	9.6%	44	14.5%
	女性	4	1.3%	21	6.9%	32	10.6%	47	15.5%	66	21.8%	170	56.1%
	奨学金	2	0.7%	11	3.6%	13	4.3%	11	3.6%	11	3.6%	48	15.8%
	住宅ローン	0	0.0%	0	0.0%	6	2.0%	19	6.3%	38	12.5%	63	20.8%

## 1-2 調査結果

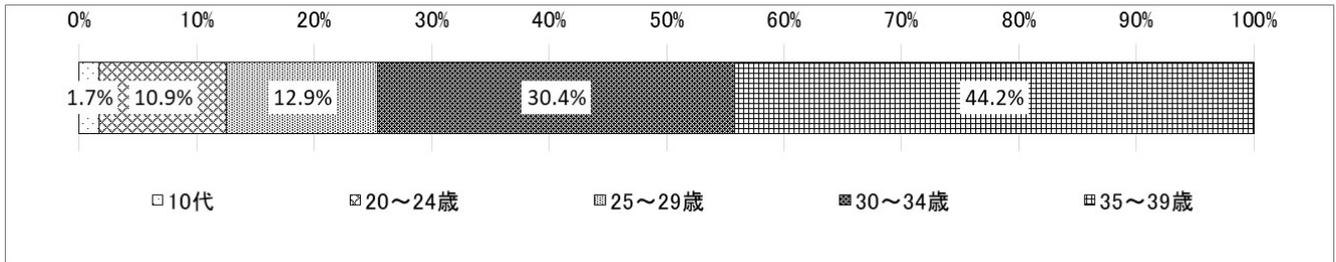
### (1) 基本属性 [対象：全回答者]

【基本属性 1】 あなたの年齢を教えてください。

(自由記述)

- 回答者の年齢を 5 歳区分で分類すると、「35～39 歳」が 44.2%と最も多く、次いで「30～34 歳」(30.4%)、「25～29 歳」(12.9%) となっている。

山梨県結果(n=303)

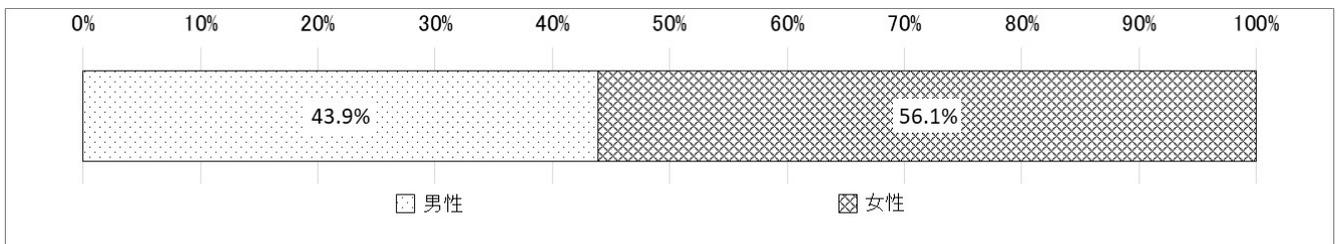


【基本属性 2】 あなたの性別を教えてください。

(1 つだけ)

- 回答者の性別は、「男性」が 43.9%で「女性」が 56.1%となっている。

山梨県結果(n=303)

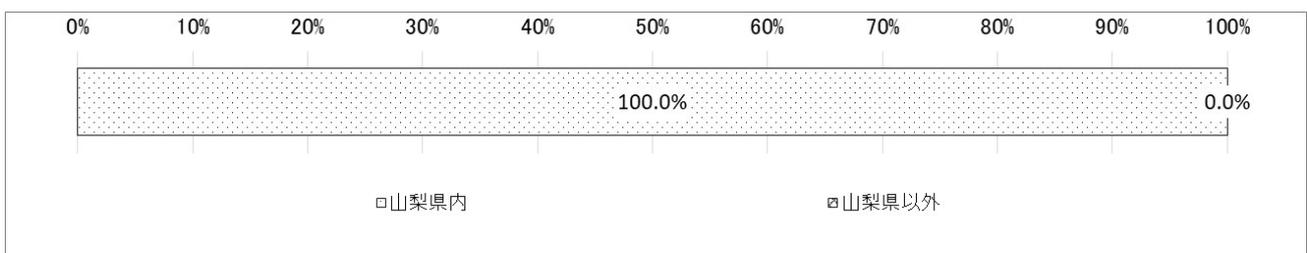


【基本属性 3】 あなたの住民票の登録場所について教えてください。

(1 つだけ)

- 回答者の住民票の登録場所は「山梨県内」が 100%となっている。

山梨県結果(n=303)

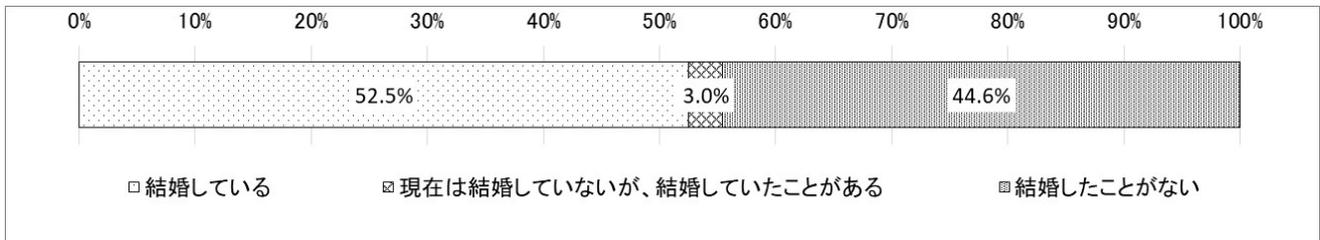


【基本属性 4】 あなたは結婚されていますか。

(1つだけ)

- 回答者において「結婚している」が 52.5%、「現在は結婚していないが、結婚していたことがある」が 3.0%、「結婚したことがない」が 44.6%となっている。

山梨県結果(n=303)



【基本属性 5】

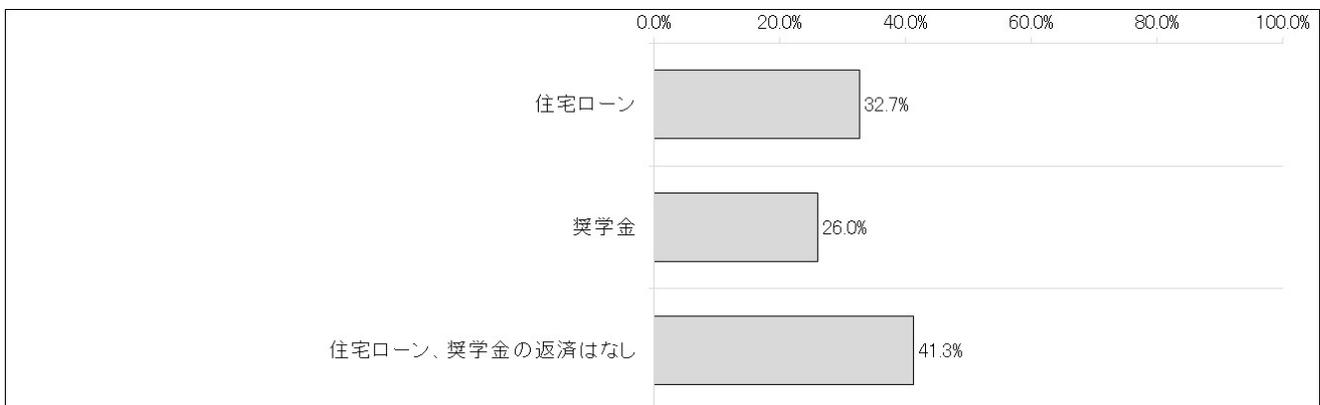
【未婚者の場合】あなたが借入されているものとして該当するものを教えてください。

【既婚者の場合】あなた、または配偶者が借入されているものとして該当するものを教えてください。

(当てはまるもの全て)

- 回答者または配偶者の借入されているものとして「住宅ローン」が 32.7%、「奨学金」が 26.0%、「住宅ローン、奨学金の返済はなし」が 41.3%となっている。

山梨県結果(n=303)

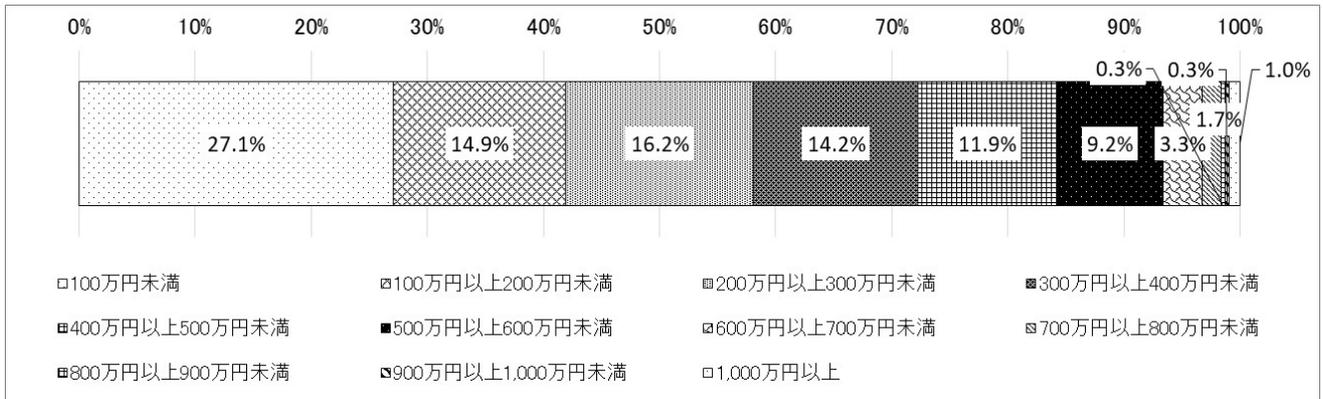


【基本属性 6】 あなたの年収を教えてください。

(1 つだけ)

- 回答者の年収を 100 万円区分で分類すると、「100 万円未満」が 27.1%と最も多く、次いで「200 万円以上 300 万円未満」が 16.2%、「100 万円以上 200 万円未満」が 14.9%となっている。

山梨県結果(n=303)



【基本属性 7】

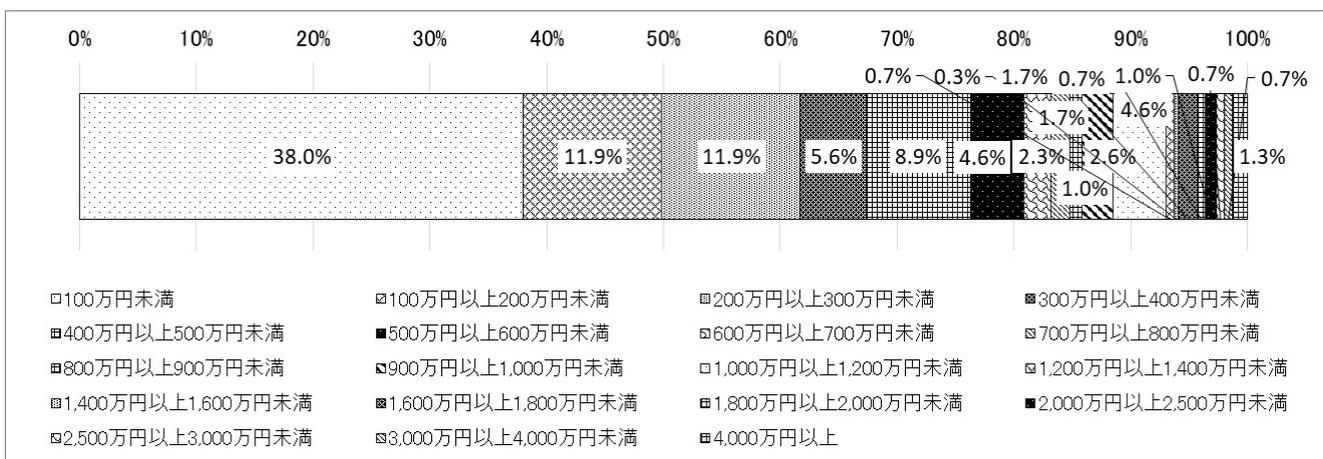
【未婚者の場合】あなたの貯蓄額(投資額含む)について教えてください。

【既婚者の場合】世帯の貯蓄額(投資額含む)について教えてください。

(1 つだけ)

- 回答者(未婚者は自身、既婚者は世帯)の貯蓄額を 1,000 万円未満は 100 万円区分で、1,000 万円以上は 200 万円区分で分類すると、「100 万円未満」が 38.0%と最も多く、次いで「100 万円以上 200 万円未満」が 11.9%、「200 万円以上 300 万円未満」が 11.9%となっている。

山梨県結果(n=303)

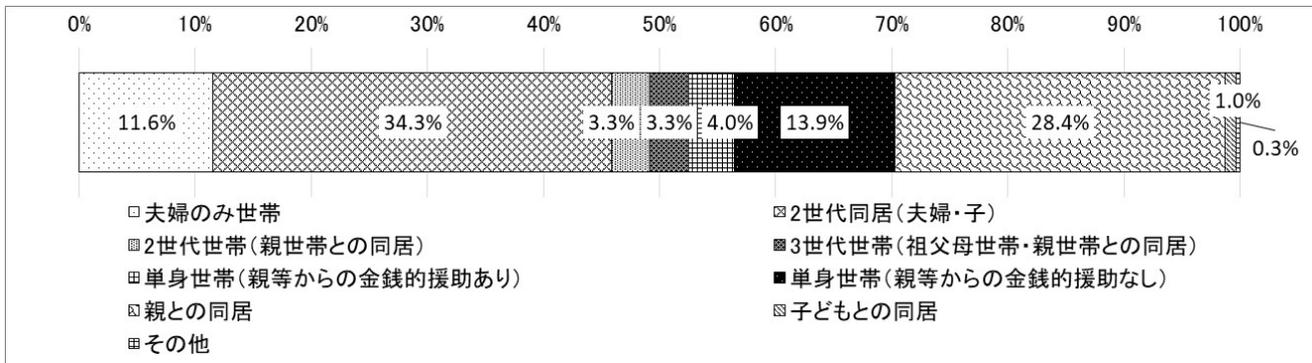


【基本属性 8】 現在のあなたの世帯構成としてあてはまるものを選択してください。

(1つだけ)

- 回答者の世帯構成は「2世代同居(夫婦・子)」が34.3%と最も多く、次いで「親との同居」が28.4%、「単身世帯(親等からの金銭的援助なし)」が13.9%となっている。

山梨県結果(n=303)



## (2) 婚姻促進 [対象：未婚者]

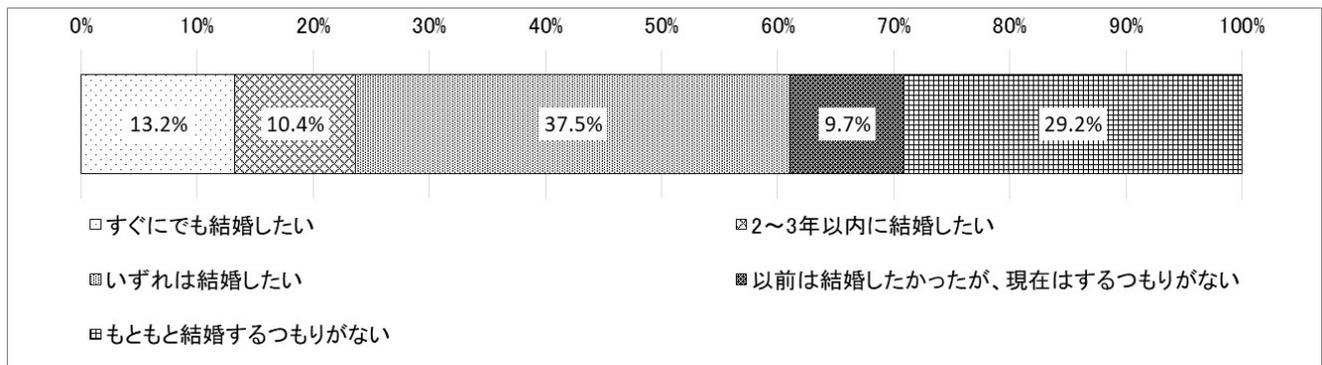
### ① 基本集計結果

【婚姻促進 1】 現在、あなたは結婚するつもりはありますか。

(1つだけ)

- 回答者の婚姻意思は「いずれは結婚したい」が 37.5%と最も多く、次いで「もともと結婚するつもりがない」が 29.2%、「すぐにも結婚したい」が 13.2%となっている。

山梨県結果(n=144)

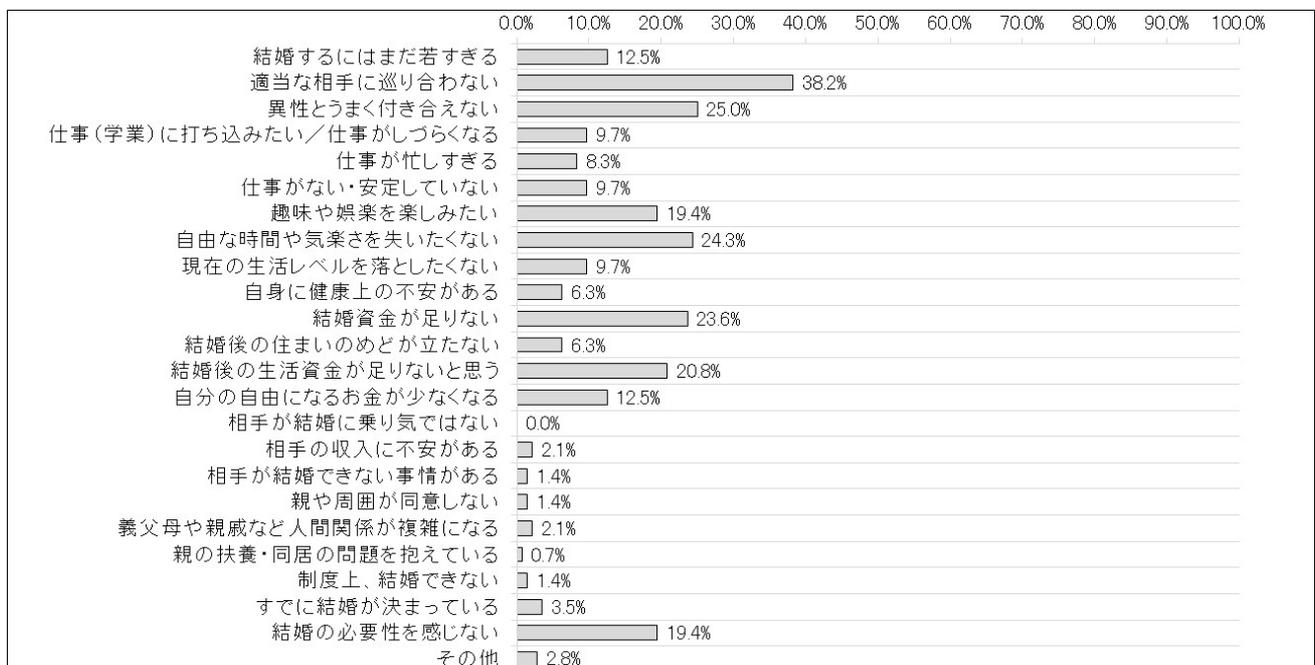


【婚姻促進 2】 あなたが現在結婚していない理由はなんですか。

(当てはまるもの全て)

- 回答者の未婚理由は「適当な相手に巡り合わない」が 38.2%と最も多く、次いで「異性とうまく付き合えない」が 25.0%、「自由な時間や気楽さを失いたくない」が 24.3%となっている。

山梨県結果(n=144)

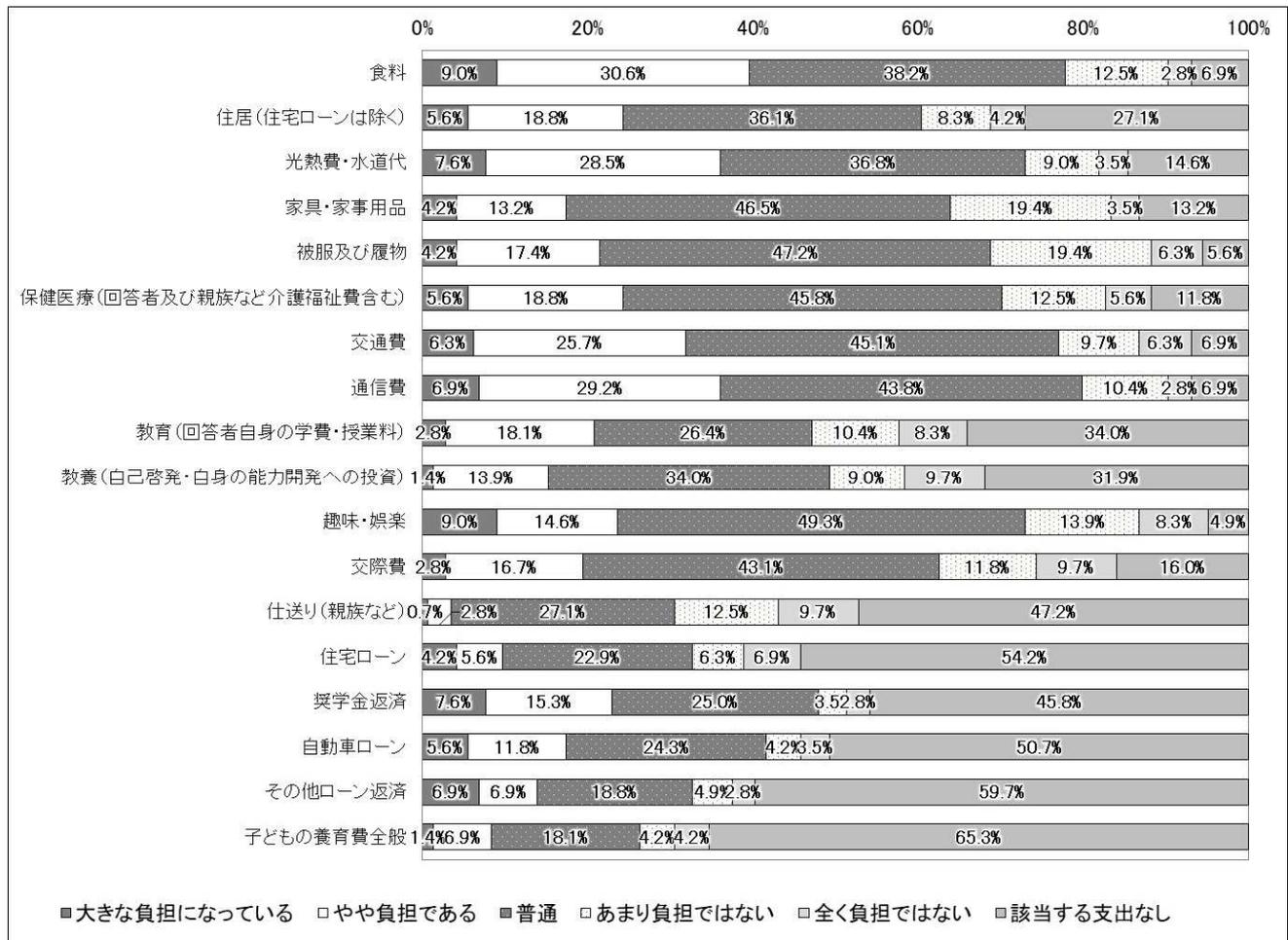


【婚姻促進 3】現在の家計において、どのような支出項目の経済的負担が大きいですか。支出項目ごとに負担感を6段階から評価してください。

(1つだけ)

- 回答者の現在の家計における支出項目のうち、経済的に「大きな負担になっている」と「やや負担である」を合計した割合をみると、「食料」が39.6%と最も多く、次いで「光熱費・水道代」と「通信費」が36.1%となっている。

山梨県結果(n=144)

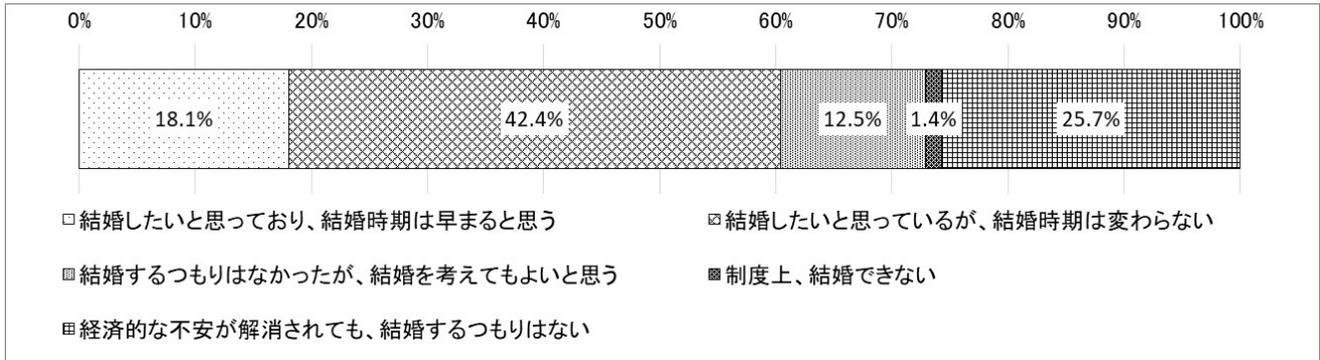


【婚姻促進 4】 経済的な負担・不安が解消されれば、結婚に対する考えはどのように変化しますか。

(1つだけ)

- 回答者の経済的な負担・不安が解消された場合の婚姻意思の変化は「結婚したいと思っているが、結婚時期は変わらない」が 42.4%と最も多く、次いで「経済的な不安が解消されても、結婚するつもりはない」が 25.7%、「結婚したいと思っており、結婚時期は早まると思う」が 18.1%となっている。

山梨県結果(n=144)

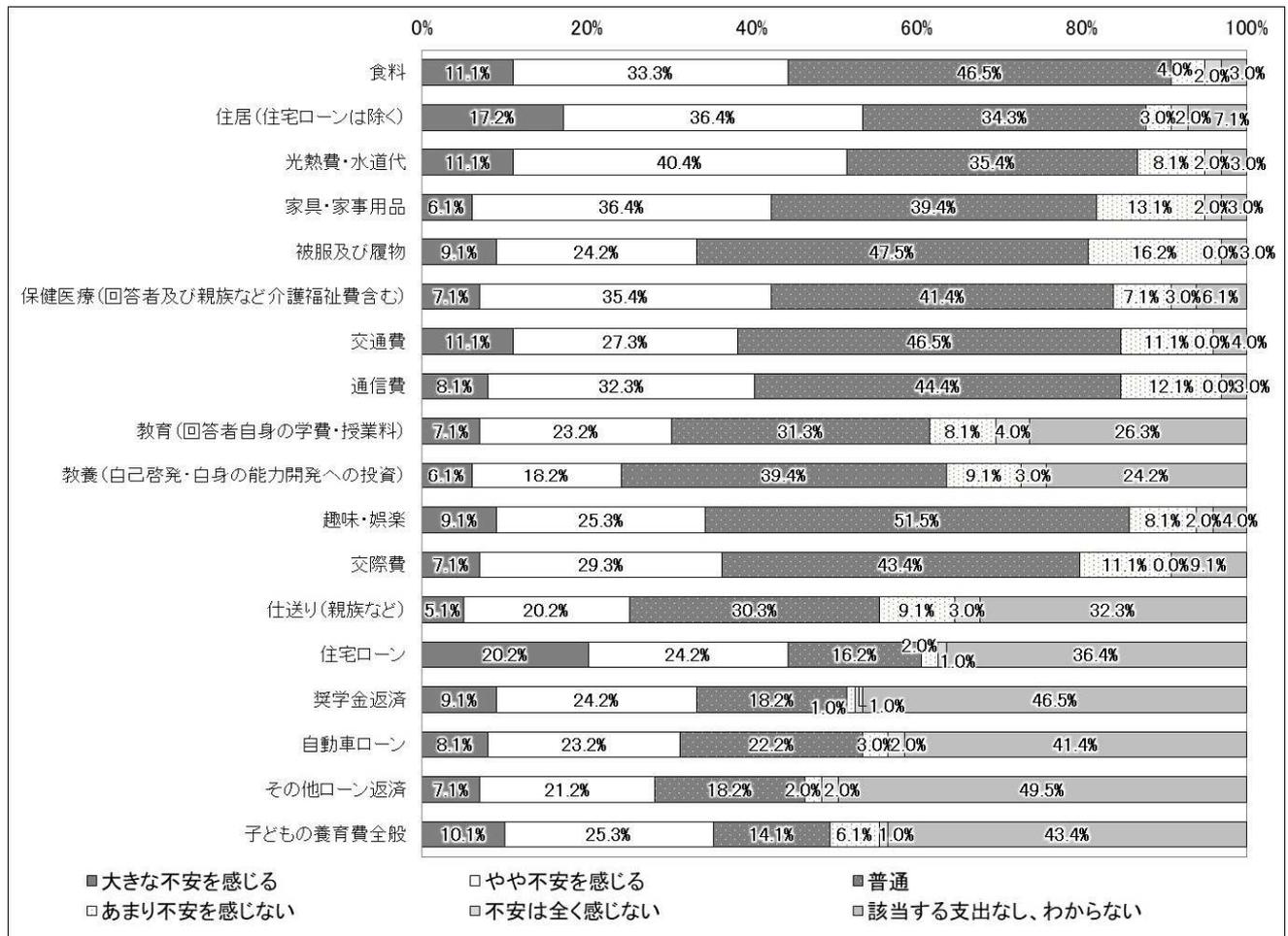


【婚姻促進 5】結婚時、あるいは結婚後の家計において、どのような支出項目の経済的負担について不安を感じていますか。支出項目ごとに負担感を6段階から評価してください。

(1つだけ)

- 「結婚時、あるいは結婚後の家計」において経済的負担に不安を感じる支出項目のうち、「大きな不安を感じる」と「やや不安を感じる」を合計した割合は、「住居（住宅ローンは除く）」が53.6%と最も多く、次いで「光熱費・水道代」が51.5%、「食料」と「住宅ローン」が44.4%となっている。

山梨県結果(n=99)

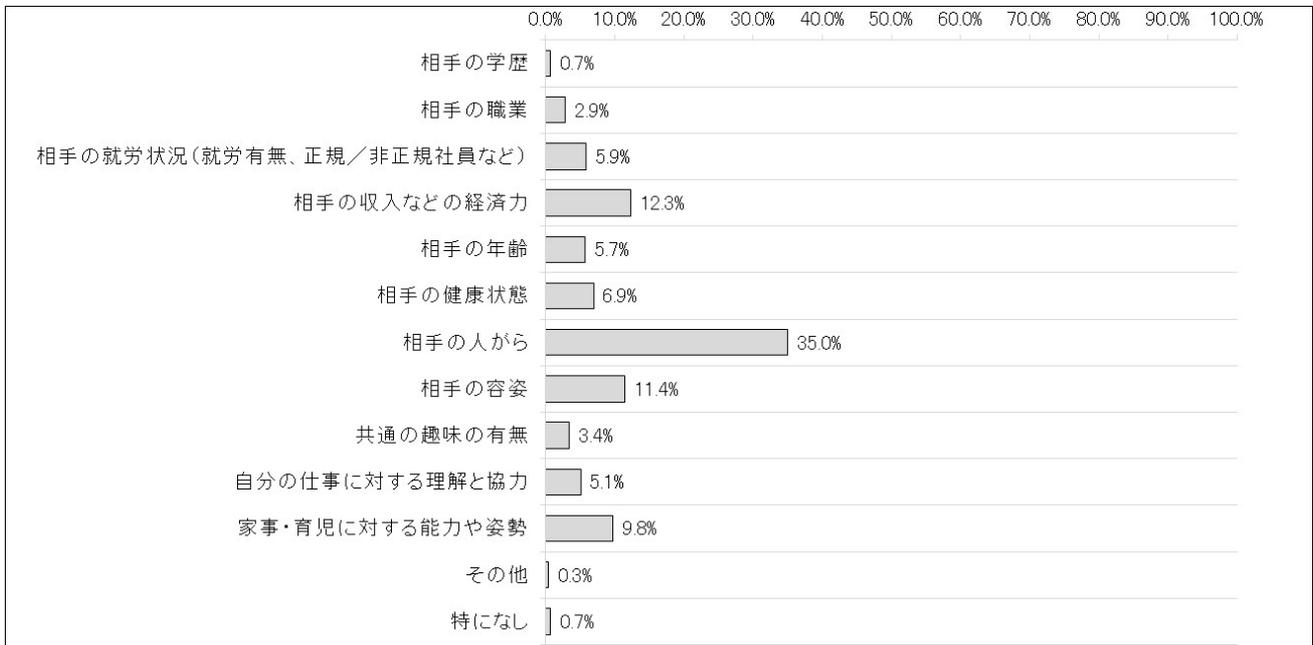


【婚姻促進 6】 結婚相手を決めるとき、どのような点を重視しますか。

(優先順位の高いものから最大3つまで)

- 回答者の結婚相手の重視する点は、「相手の人から」が35.0%と最も多く、次いで「相手の収入などの経済力」が12.3%、「相手の容姿」が11.4%となっている。

山梨県結果(n=99)



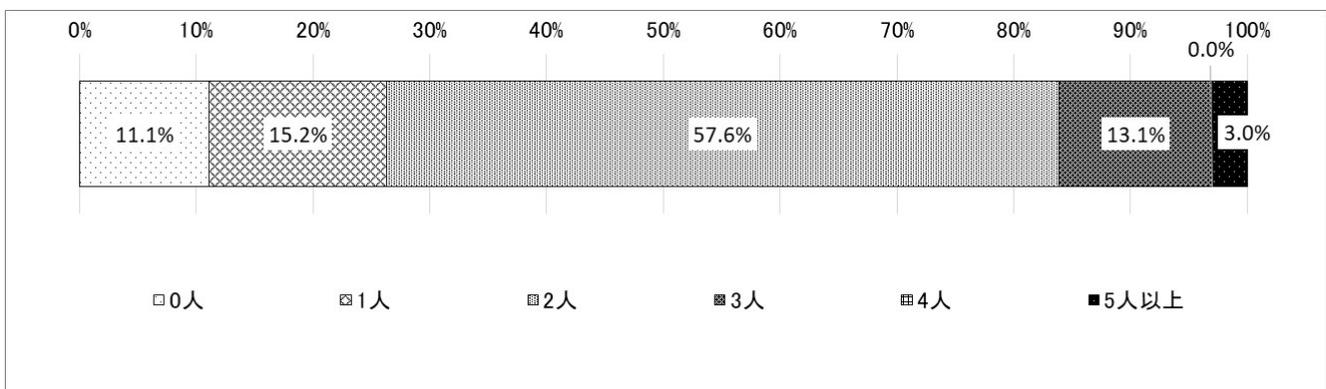
【婚姻促進 7】 結婚後の理想的な子どもの数について、当てはまるものを次の中から選んでください。

※経済状況を考慮せずに、ご自身の理想・希望とする数を選んでください。

(1つだけ)

- 回答者の結婚後の理想的な子どもの数は「2人」が57.6%と最も多く、次いで「1人」が15.2%、「3人」が13.1%となっている。

山梨県結果(n=99)



## ② 未婚者の現状分析

- 未婚者のうち、経済的要因に伴う婚姻意思の変化については、未婚者の現状について、以下の観点から年代別または年収別にてクロス集計を行い、分析した。

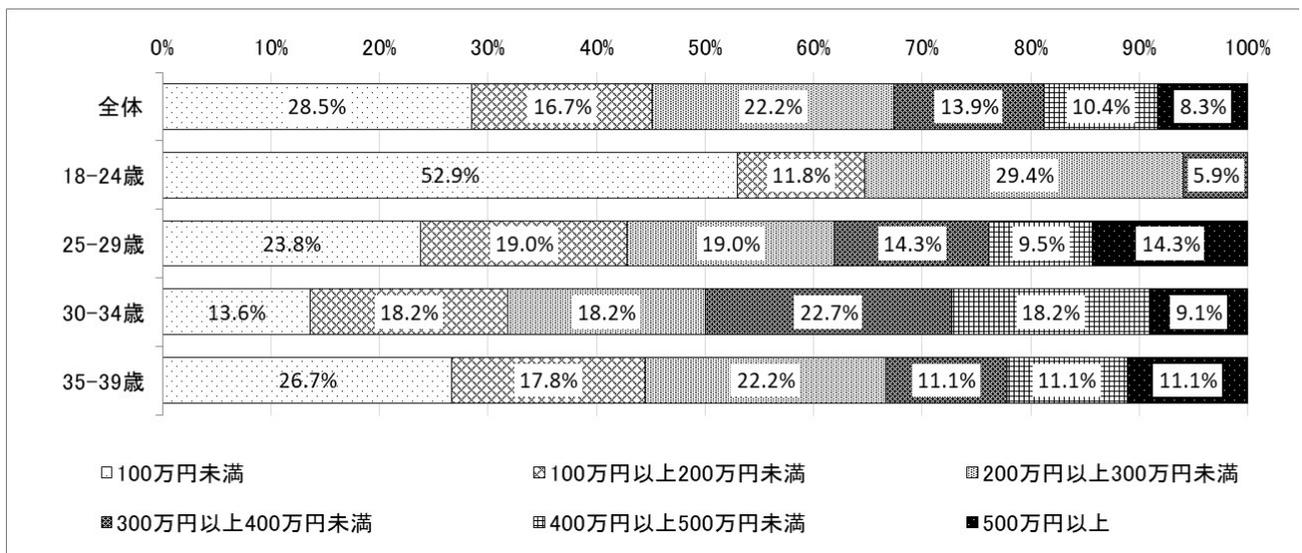
### i. 未婚者の年収（年代別）

- 未婚者の年代別年収については、「300万円未満」が全世代で5割以上を占めており、年代の低い「29歳以下」で「300万円未満」の割合が高いものの、「35-39歳」でも66.7%存在している。

#### 未婚者の年収[年収別・年代別]

年代別【基本属性1】×婚姻別【基本属性5】×個人年収【基本属性6】

未婚者の年代別年収	全体	18-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳
内訳	N=144	N=34	N=21	N=44	N=45
100万円未満	28.5%	52.9%	23.8%	13.6%	26.7%
100万円以上200万円未満	16.7%	11.8%	19.0%	18.2%	17.8%
200万円以上300万円未満	22.2%	29.4%	19.0%	18.2%	22.2%
300万円以上400万円未満	13.9%	5.9%	14.3%	22.7%	11.1%
400万円以上500万円未満	10.4%	0.0%	9.5%	18.2%	11.1%
500万円以上	8.3%	0.0%	14.3%	9.1%	11.1%
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

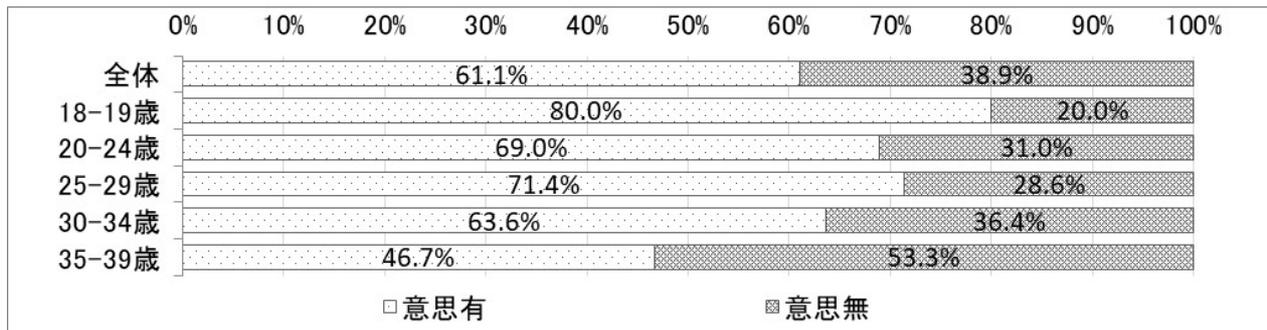


## ii. 未婚者の婚姻意思（年代別）

- 未婚者のうち、現時点で婚姻の意思（「すぐにでも結婚したい」「2～3年以内に結婚したい」「いずれは結婚したい」）を有する未婚者は、全体で61.1%となっているが、若年層ほど婚姻意思を有している割合が高い。
- 全国における年代別の婚姻意思と比較すると、各年代とも、低い割合となっている。

**未婚者における婚姻意思[年代別]**  
年代別【基本属性1】×婚姻別【基本属性5】×婚姻意思【婚姻促進1】

(n=144)

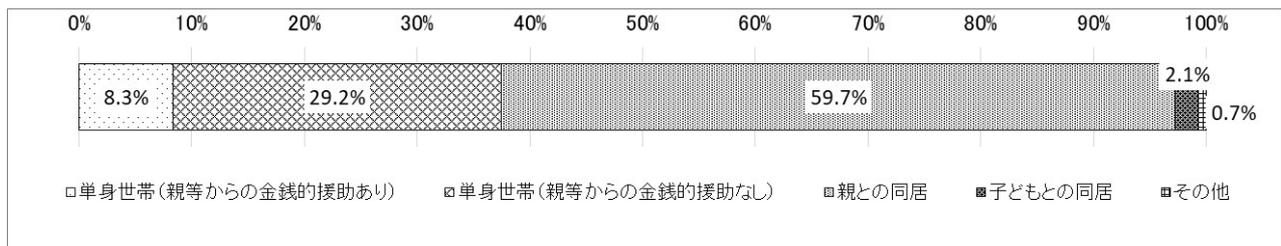


## iii. 未婚者の世帯構成

- 未婚者の世帯構成については、「親との同居」が6割弱であり、「単身世帯（親族からの金銭的援助なし）」が3割弱となっている。

**未婚者の世帯構成**  
年代別【基本属性1】×世帯構成【基本属性8】×婚姻別【基本属性5】

(n=144)



#### iv. 未婚者の経済的負担状況（年代別）

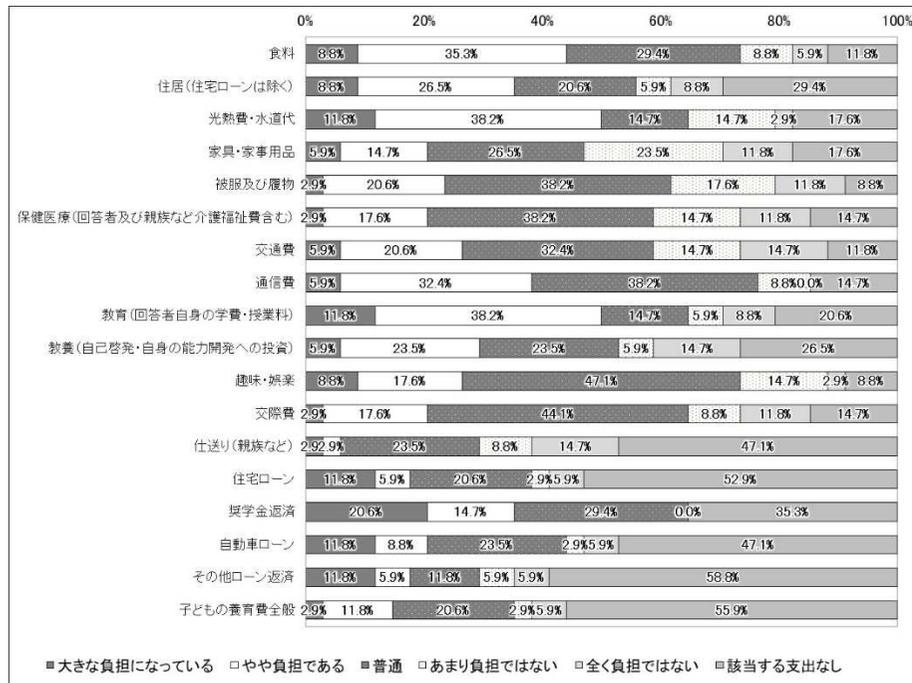
- 未婚者の経済的負担になっている支出項目について年代別にみると、「18-24歳」で負担を感じている（「大きな負担になっている」、「やや負担である」）支出項目として、「光熱費・水道代」と「教育（回答者自身の学費・授業料）」が50.0%となっており、学生などが多いものと推察されるため、固定的に発生する支出項目について負担を感じている割合が高い傾向である。
- それ以外の年代では、「25-29歳」で「光熱費・水道代」、「交通費」、「通信費」が28.6%と上位である一方、「30-34歳」では「食料」が45.4%、「35-39歳」では「食料」が37.8%と上位となっており、近年の物価高の影響等によりこうした傾向があるものと推察される。

#### 未婚者の経済的負担になっている支出項目【年代別】

年代別【基本属性1】×婚姻別【基本属性5】×経済的要因による婚姻意思への影響【婚姻促進4】×現在の経済的負担【婚姻促進3】

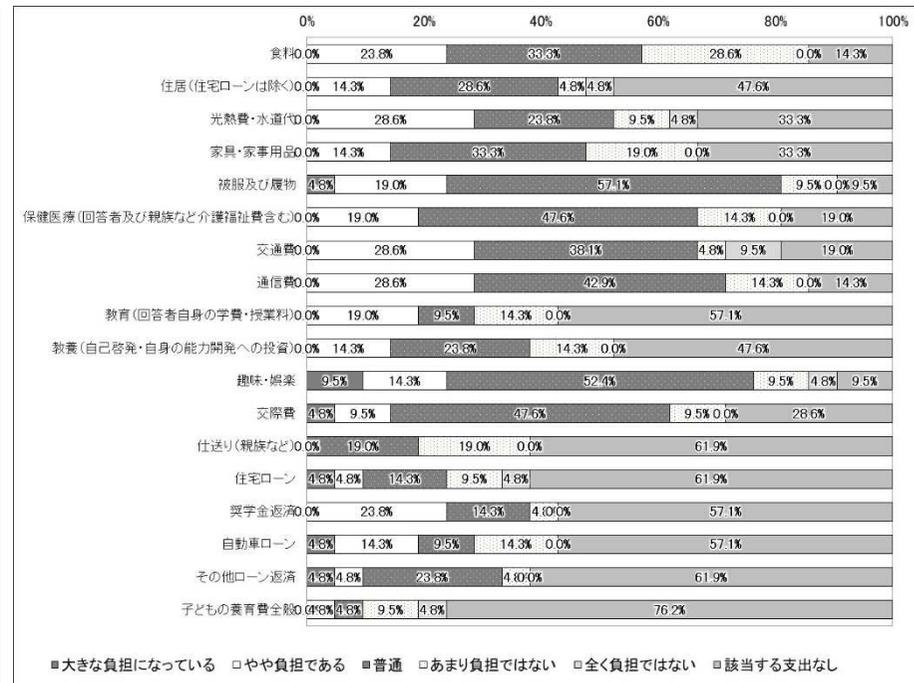
<18-24歳>

(n=24)



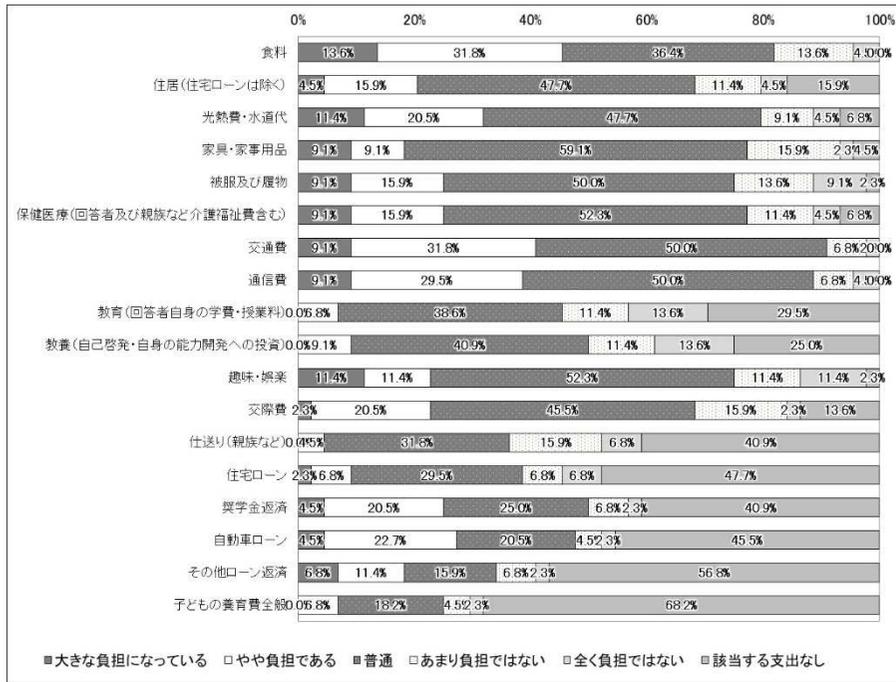
<25-29歳>

(n=21)



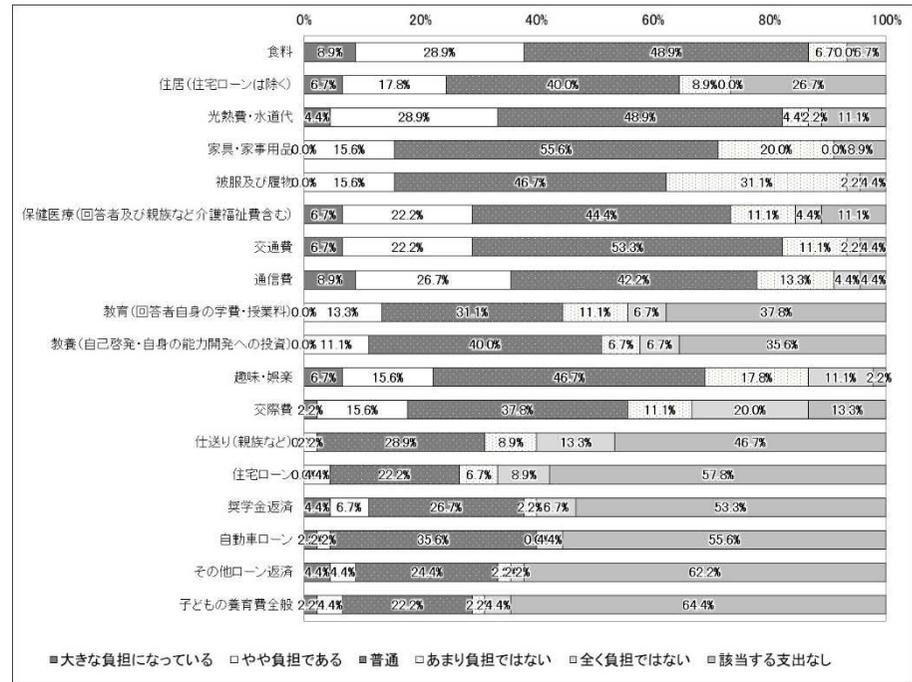
<30-34 歳>

(n=44)



<35-39 歳>

(n=45)



v. 未婚者の経済的負担状況（年収別）

- 未婚者の経済的負担になっている支出項目について年収別にみると、「100万円未満」で負担を感じている（「大きな負担になっている」、「やや負担である」）支出項目として、「食料」が39.1%、「光熱費・水道代」が39.0%と上位となっている。
- それ以外の年収別では、「100万円以上200万円未満」で「交通費」が58.3%、「200万円以上300万円未満」で「通信費」が40.7%、「300万円以上400万円未満」で「食料」が55.0%、「交通費」、「自動車ローン」が50.0%、「400万円以上500万円未満」で「光熱費・水道代」が40.0%と上位となっている。
- 「500万円以上」では、負担を感じている最も高い割合は16.7%に過ぎず、経済的負担はあまり感じていない。

未婚者の経済的負担になっている支出項目【年収別】

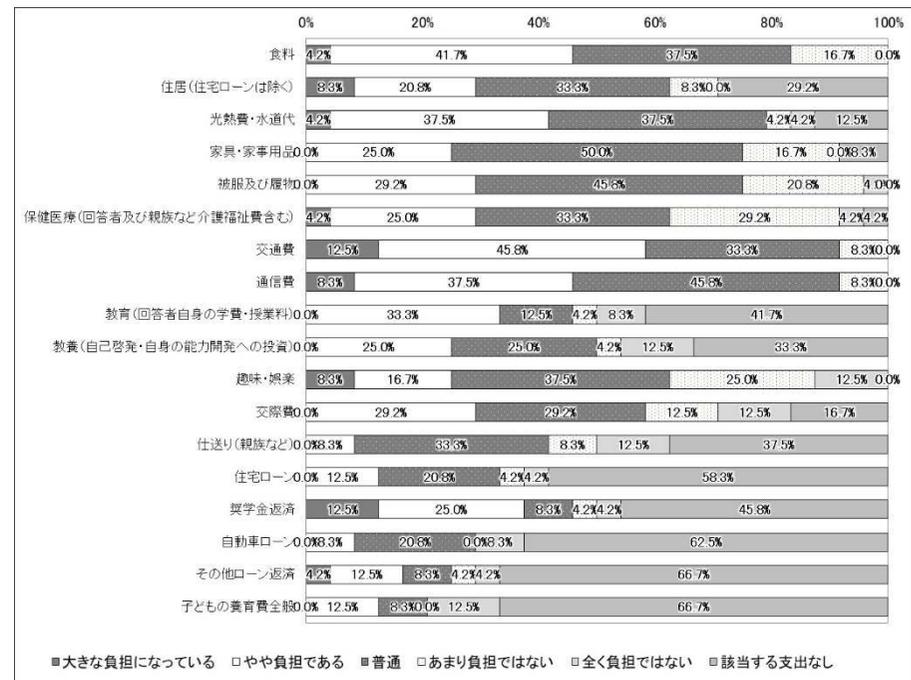
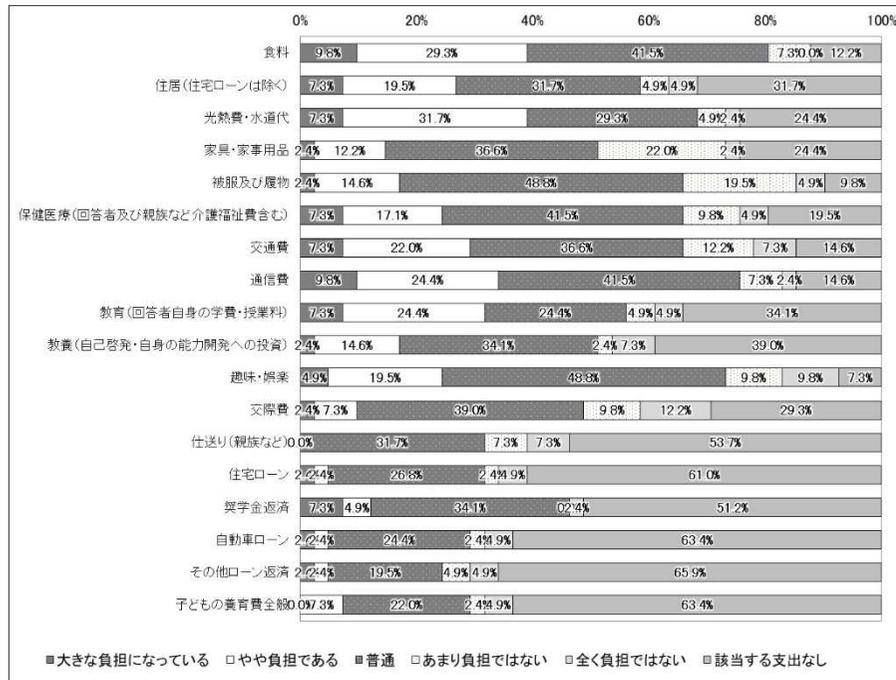
個人年収【基本属性6】×婚姻別【基本属性5】×現在の経済的負担【婚姻促進3】

<100万円未満>

<100万円以上200万円未満>

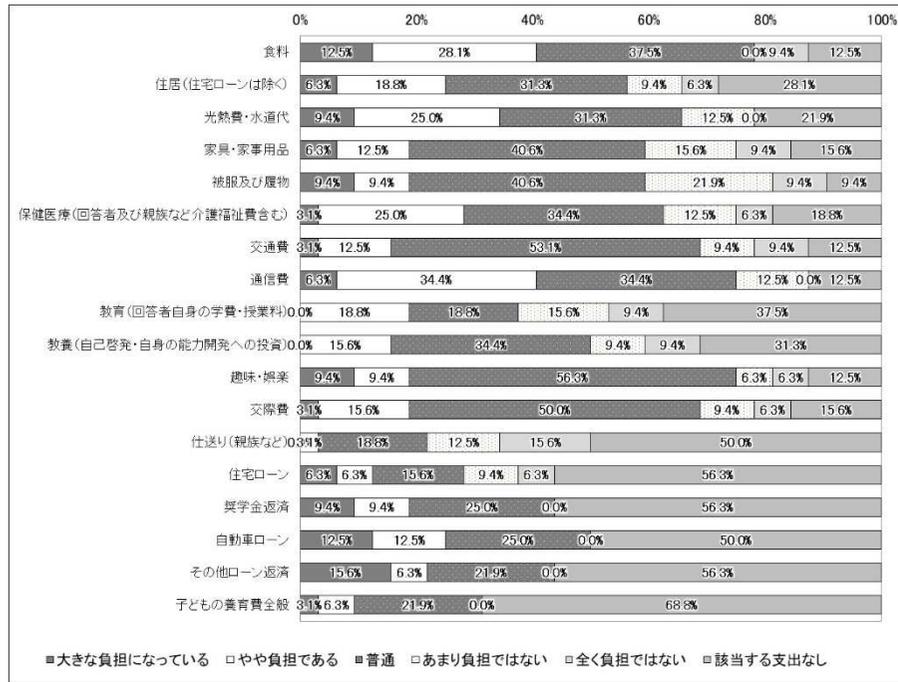
(n=41)

(n=24)



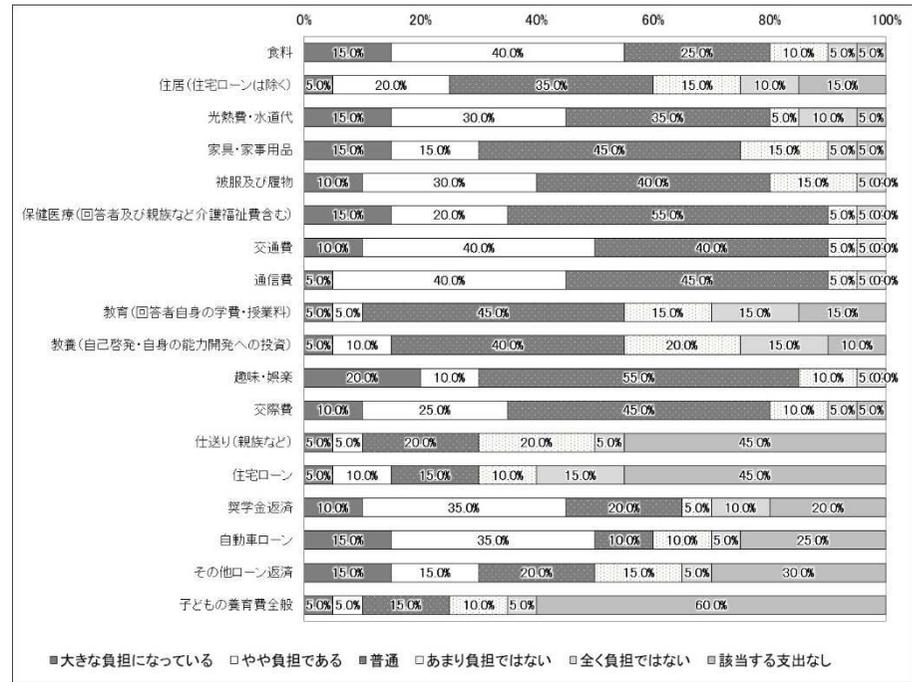
< 200 万円以上 300 万円未満 >

(n=32)



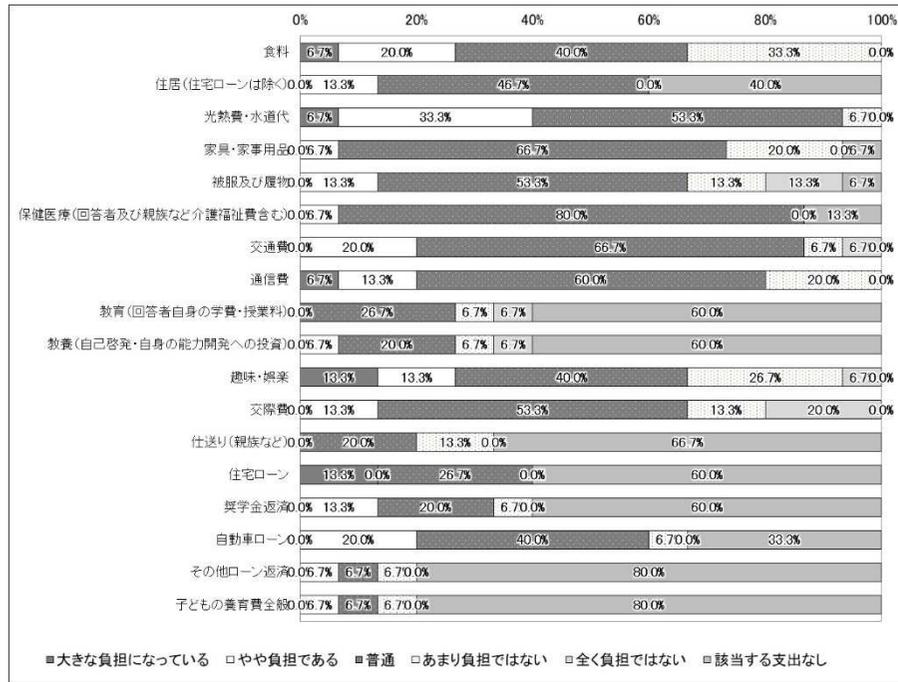
< 300 万円以上 400 万円未満 >

(n=20)



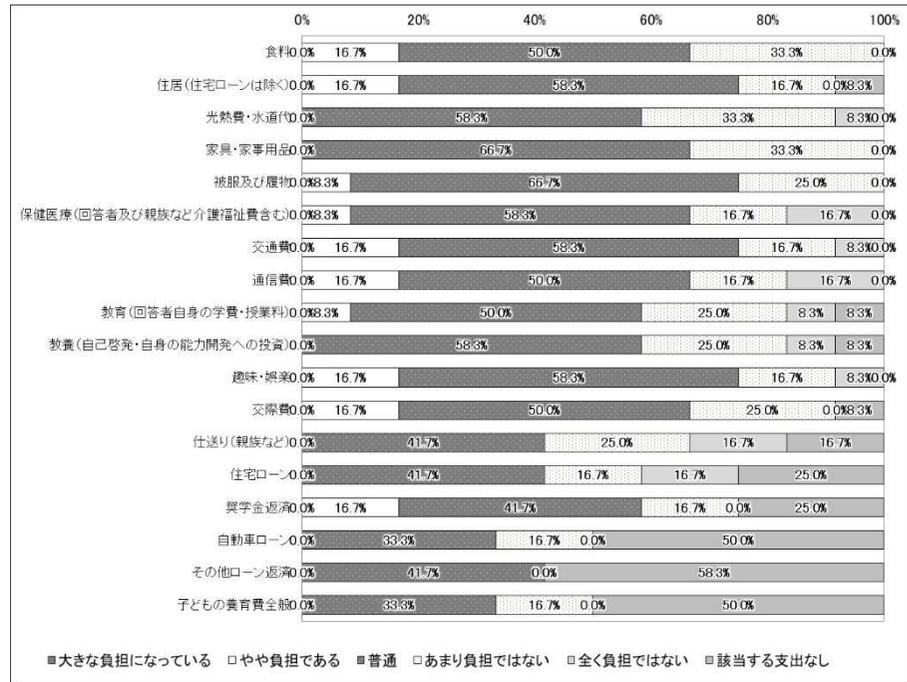
<400万円以上 500万円未満>

(n=15)



<500万円以上>

(n=12)



### (3) 出生率上昇 [対象：既婚者]

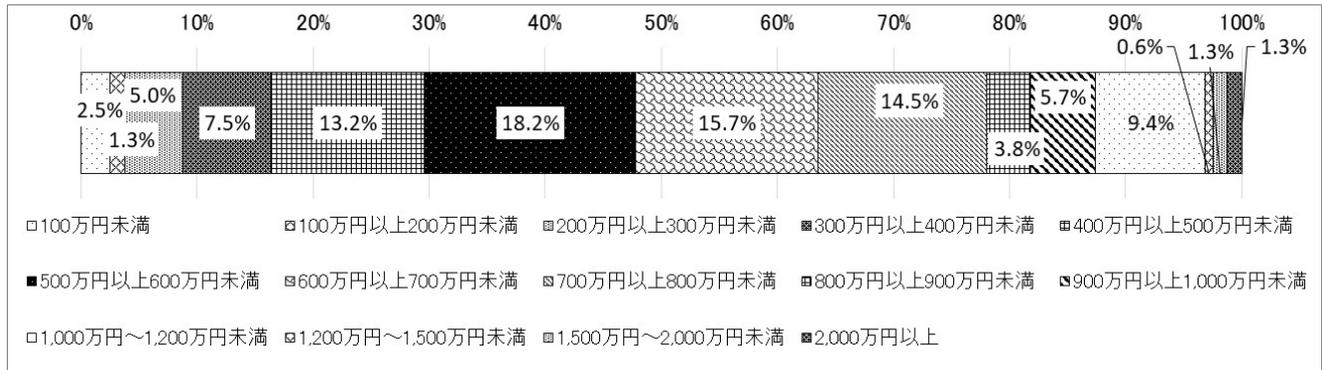
#### ① 基本集計結果

【出生率上昇 8】 世帯年収を教えてください。

(1つだけ)

- 回答者の世帯年収は「500万円以上600万円未満」が18.2%と最も多く、次いで「600万円以上700万円未満」が15.7%、「700万円以上800万円未満」が14.5%となっている。

#### 山梨県結果(n=159)

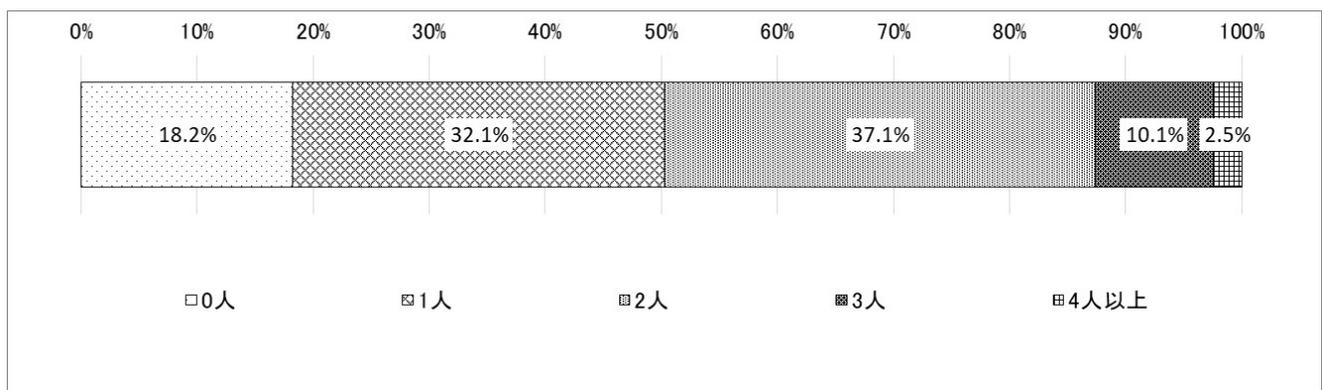


【出生率上昇 9】 子どもはいらっしゃいますか。いらっしゃる場合は人数を教えてください。

(1つだけ)

- 回答者の子どもの人数は「2人」が37.1%と最も多く、次いで「1人」が32.1%、「0人」が18.2%となっている。

#### 山梨県結果(n=159)

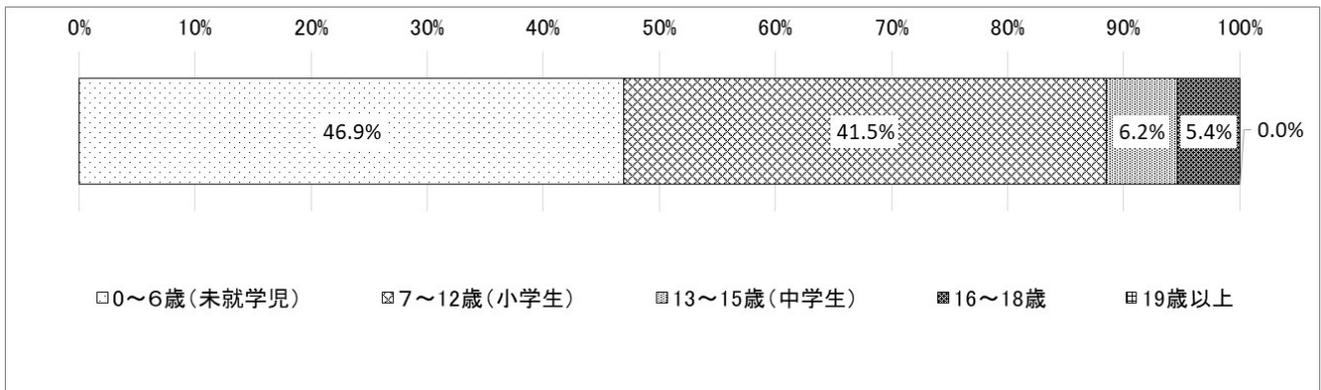


【出生率上昇 10】 子どものうち、第1子・末子の年齢を教えてください。

(1つだけ)

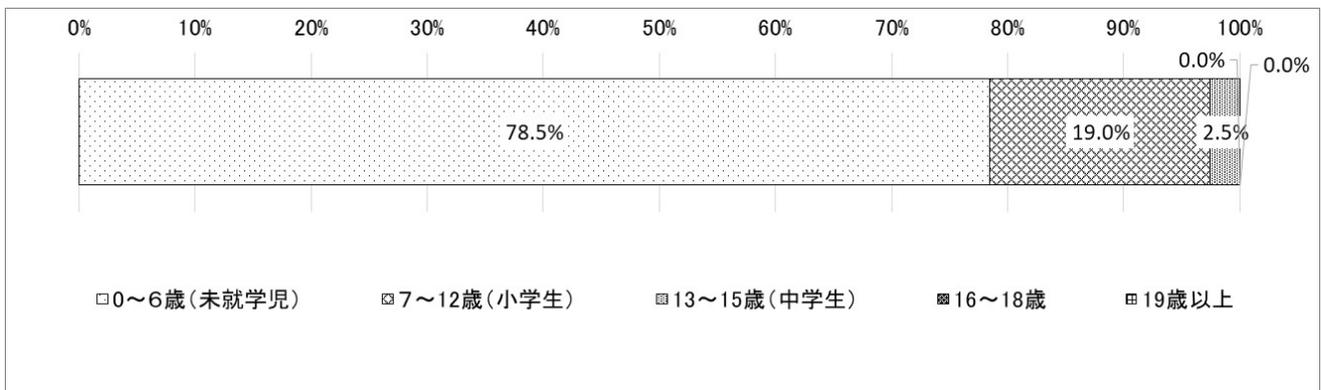
- 回答者の子どもの年齢を0～6歳（未就学児）、7～12歳（小学生）、13～15歳（中学生）、16～18歳、19歳以上で区分した場合、第1子年齢は「0～6歳（未就学児）」が46.9%と最も多く、次いで「7～12歳（小学生）」が41.5%、「13～15歳（中学生）」が6.2%となっている。

山梨県結果(n=130)



- 同様に、末子年齢は「0～6歳（未就学児）」が78.5%と最も多く、次いで「7～12歳（小学生）」が19.0%、「13～15歳（中学生）」が2.5%となっている。

山梨県結果(n=79)

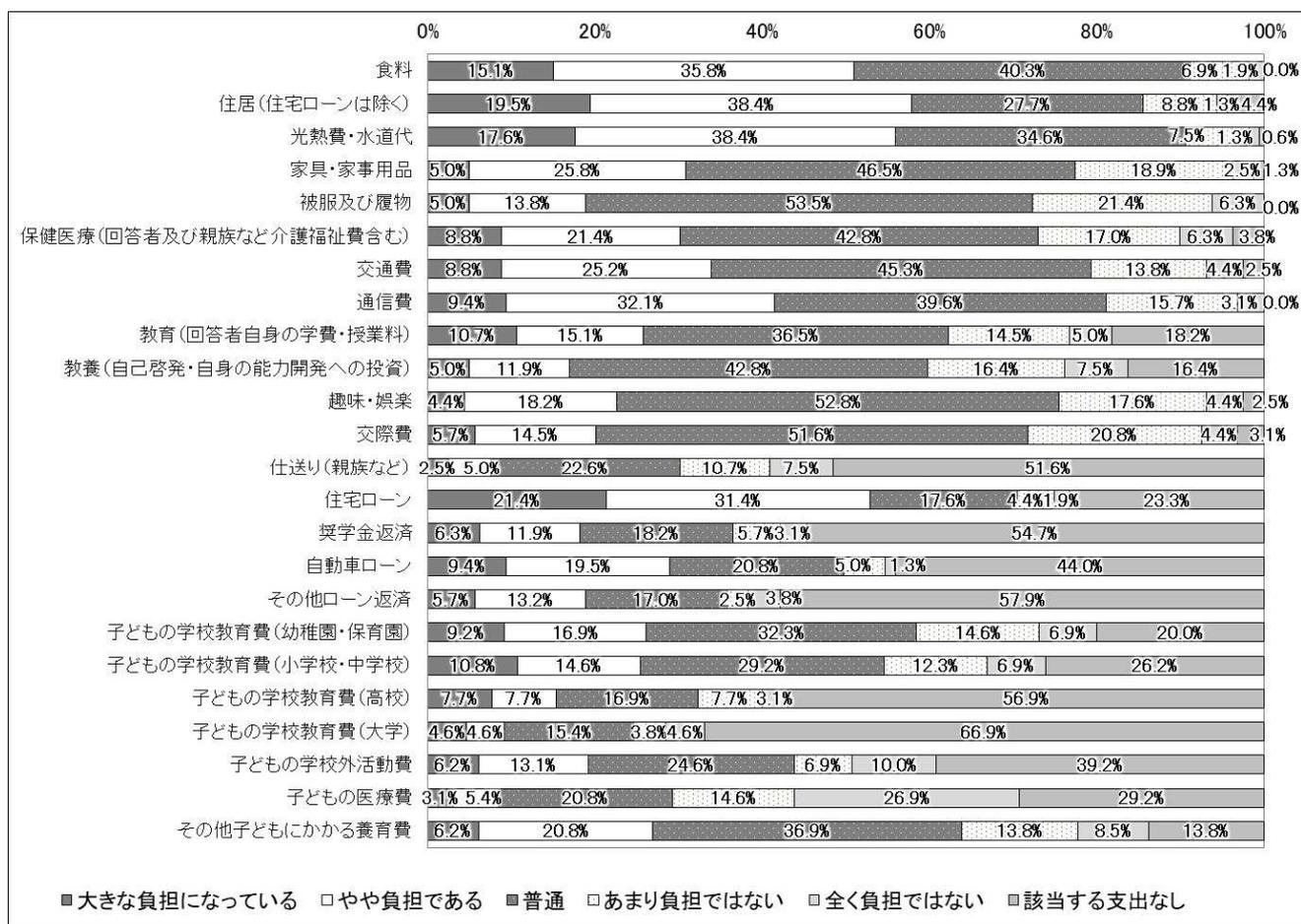


【出生率上昇 11】現在の家計において、どのような支出項目の経済的負担が大きいですか。支出項目ごとに負担感を6段階から評価してください。

(1つだけ)

- 回答者の現在の家計における支出項目のうち、経済的に「大きな負担になっている」と「やや負担である」を合計した割合をみると、「住居（住宅ローンは除く）」が57.9%と最も多く、次いで「光熱費・水道代」が56.0%、「住宅ローン」も52.8%となっている。

山梨県結果(n=159)



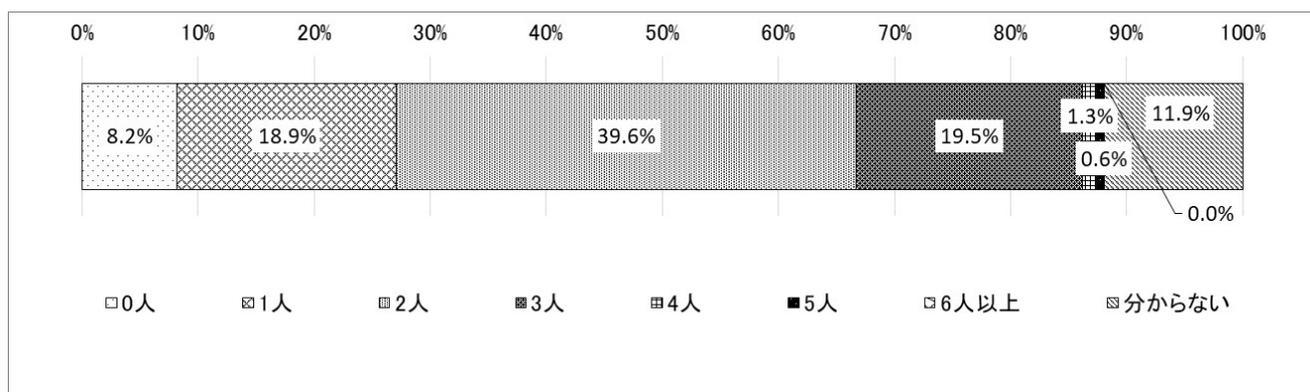
【出生率上昇 12】 現在、あなたは全部で何人の子どもを持つ予定(既にいる子どもの数も含める)なのか、当てはまるものを次の中から選んでください。

※経済状況などを踏まえて現実的に想定される数を選んでください。

(1つだけ)

- 回答者の現在の持つ予定の子どもの人数は「2人」が39.6%と最も多く、次いで「3人」が19.5%、「1人」が18.9%となっている。

山梨県結果(n=159)

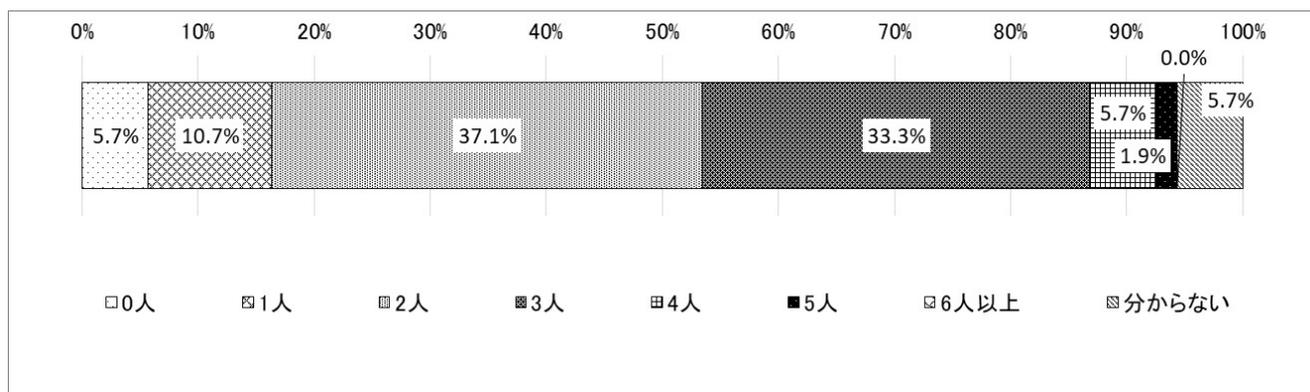


【出生率上昇 13】 現在の予定は別として、理想的な子どもの人数について、当てはまるものを次の中から選んでください。※経済状況などを考慮せずに、ご自身の理想・希望とする数を選んでください。

(1つだけ)

- 回答者の理想的な子どもの人数は「2人」が37.1%と最も多く、次いで「3人」が33.3%、「1人」が10.7%となっている。

山梨県結果(n=159)

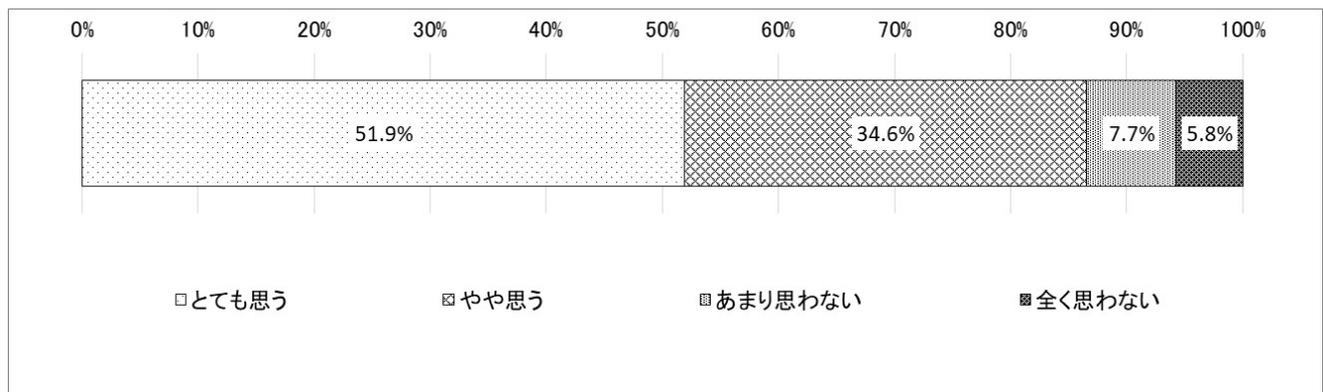


【出生率上昇14】 予定している子どもの人数と理想的な子どもの人数の差は経済的な負担によるものでしょうか。

(1つだけ)

- 回答者の予定している子どもの人数と理想的な子どもの人数の差への経済的負担の影響度合いは、「とても思う」が51.9%と最も多く、次いで「やや思う」が34.6%、「あまり思わない」が7.7%となっている。

山梨県結果(n=52)



【出生率上昇 15】理想的な子どもの人数を実現するうえで、家計におけるどのような支出項目の経済的負担について、不安を感じていますか。支出項目ごとに負担感を6段階から評価してください。

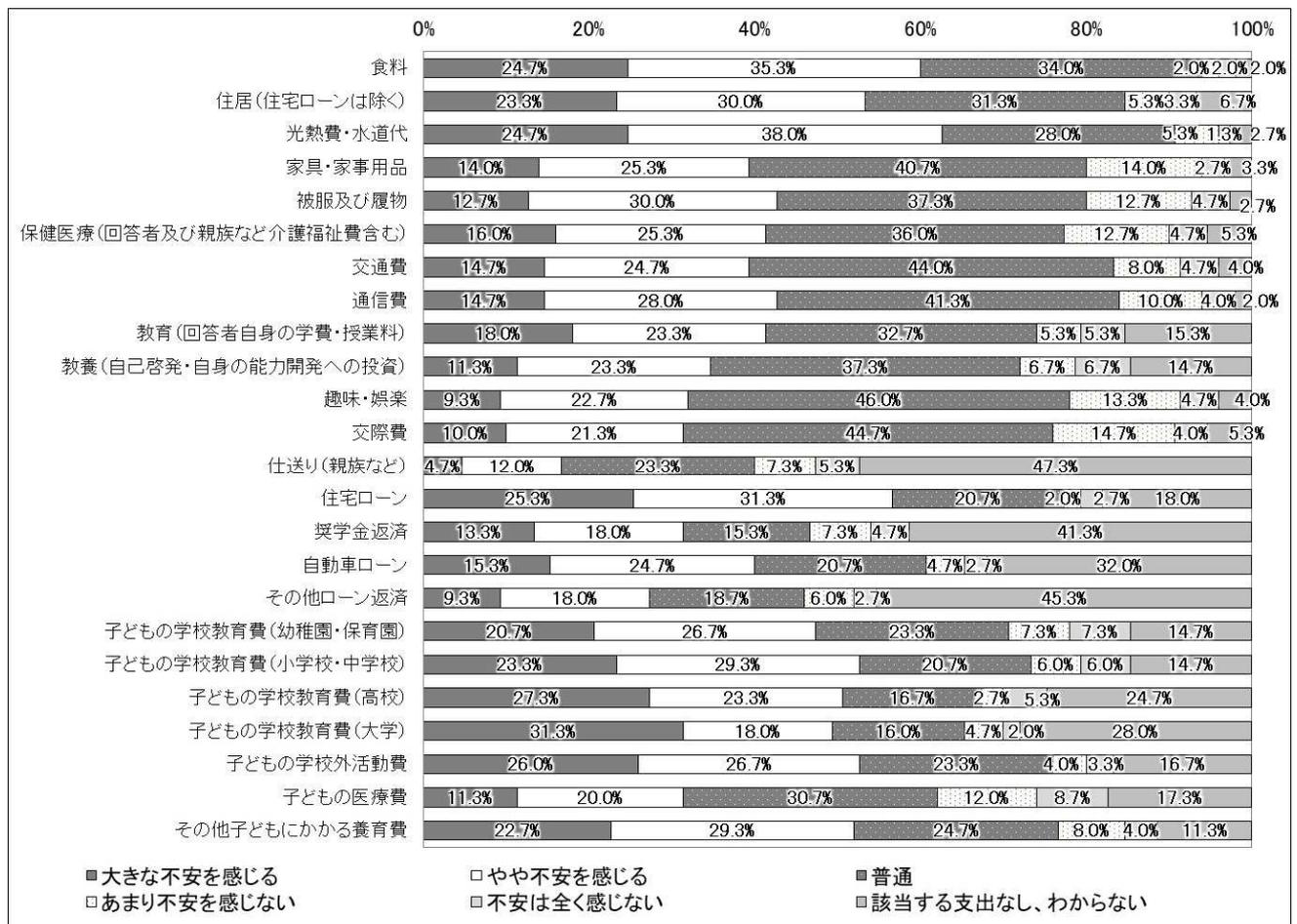
※学校教育費…授業料や修学旅行、通学、教材など学校教育にかかる費用

※学校外活動費…学習塾、習い事など学校教育以外の活動にかかる費用

(1つだけ)

- 回答者の理想的な子どもの人数を実現するうえで、経済的負担について不安を感じる家計の支出項目について、「大きな不安を感じる」と「やや不安を感じる」を合計した割合をみると、「光熱費・水道代」が62.7%と最も多く、次いで「食料」が60.0%、「住宅ローン」が56.6%となっている。

山梨県結果(n=150)



## ② 既婚者の現状分析

- 既婚者のうち、経済的要因に伴う理想の子ども人数を持つ意思の変化については、既婚者のうち、子どもを有する世帯の現状について、以下の観点から年代別または年収別にてクロス集計を行い、分析した。

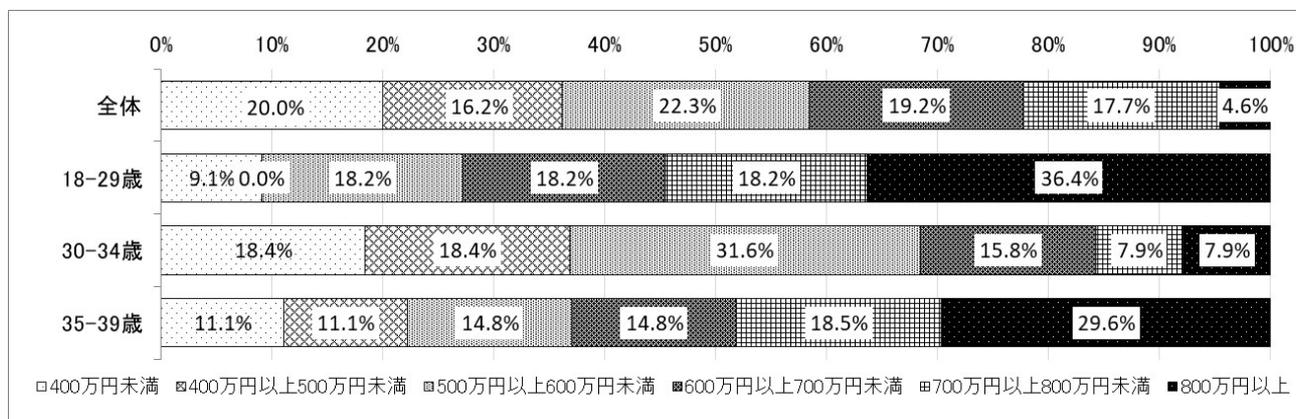
### i. 子どもを有する既婚者の年収（年代別）

- 既婚者 159 人のうち、子どもを有する既婚者 130 人の年代別の世帯年収については、全体では「600 万円未満」が全年代で 6 割弱を占めている。
- 年代別では、「18-29 歳」では「500 万円以上」（90.8%）が 9 割を占めている。
- その他の年代については、「30-34 歳」では「600 万円未満」（68.4%）が、「35-39 歳」では「600 万円以上」が（62.9%）が 6 割以上を占めている。

既婚者の世帯年収【年収別・年代別】

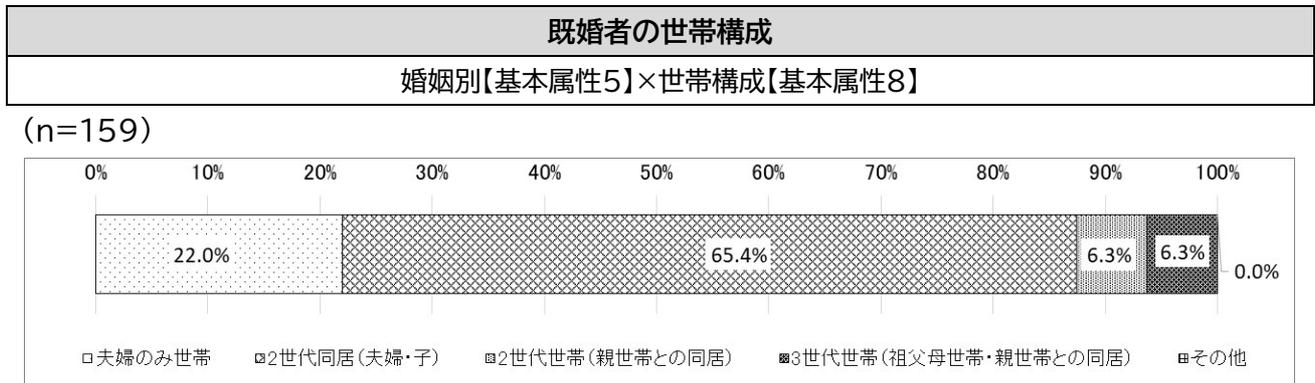
年代別【基本属性1】×婚姻別【基本属性5】×世帯年収【出生率上昇8】×子どもの有無【出生率上昇9】

子育て世帯(子どもあり)	全体	18-29歳	30-34歳	35-39歳
内訳	N=130	N=11	N=38	N=81
400万円未満	20.0%	9.1%	18.4%	11.1%
400万円以上500万円未満	16.2%	0.0%	18.4%	11.1%
500万円以上600万円未満	22.3%	18.2%	31.6%	14.8%
600万円以上700万円未満	19.2%	18.2%	15.8%	14.8%
700万円以上800万円未満	17.7%	18.2%	7.9%	18.5%
800万円以上	4.6%	36.4%	7.9%	29.6%
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



## ii. 既婚者の世帯構成

- 既婚者の世帯構成については、「2世代同居（夫婦・子）」が65.4%と最も多い。



### iii. 子どもを有する既婚者の経済的負担状況（年代別）

- 子どもを有する既婚者の経済的負担になっている支出項目について年代別にみると、「18-29 歳」で負担を感じている（「大きな負担になっている」、「やや負担である」）支出項目として、「光熱費・水道代」が 63.7%、「食料」と「住居（住宅ローンは除く）」が 54.6%と上位を占めているほか、「交通費」と「自動車ローン」が 45.5%と高い負担を感じている。
- 「30-34 歳」では「住宅ローン」が 68.4%と最も高く、次いで「住居（住宅ローンは除く）」が 63.2%、「光熱費・水道代」が 57.9%、「食料」が 50.0%となっており、「35-39 歳」では「住居（住宅ローンは除く）」が 59.3%と最も高く、次いで「住宅ローン」が 55.6%、「食料」、「光熱費・水道代」が 54.3%となっており、30 歳以上では同じ支出項目で 5 割以上が負担を感じている。

#### 既婚者の経済的負担になっている支出項目【年代別】

年代別【基本属性1】×婚姻別【基本属性5】×子どもの有無【出生率上昇 9】×現在の経済的負担【出生率上昇 11】

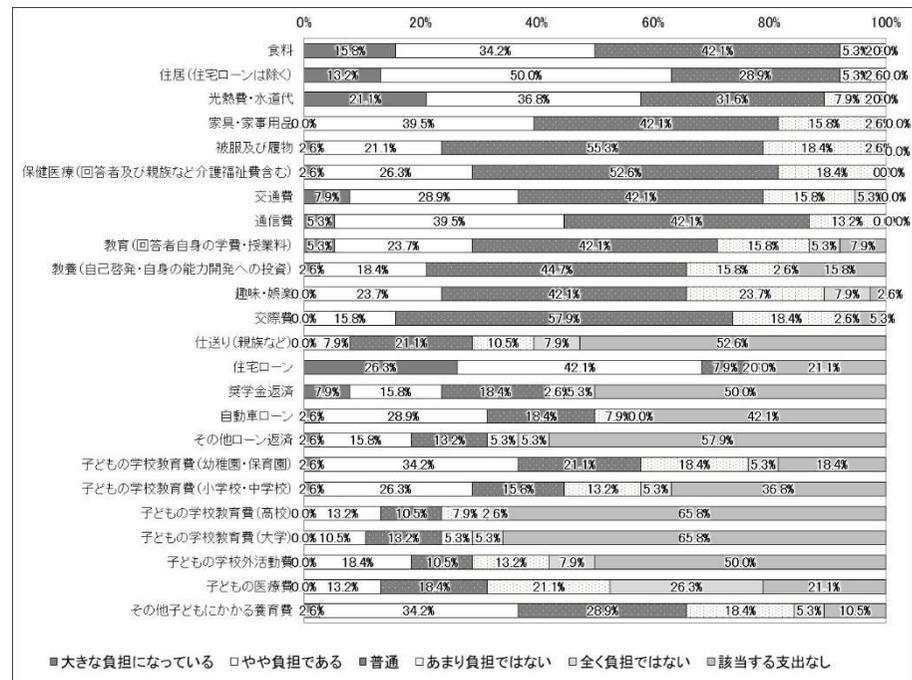
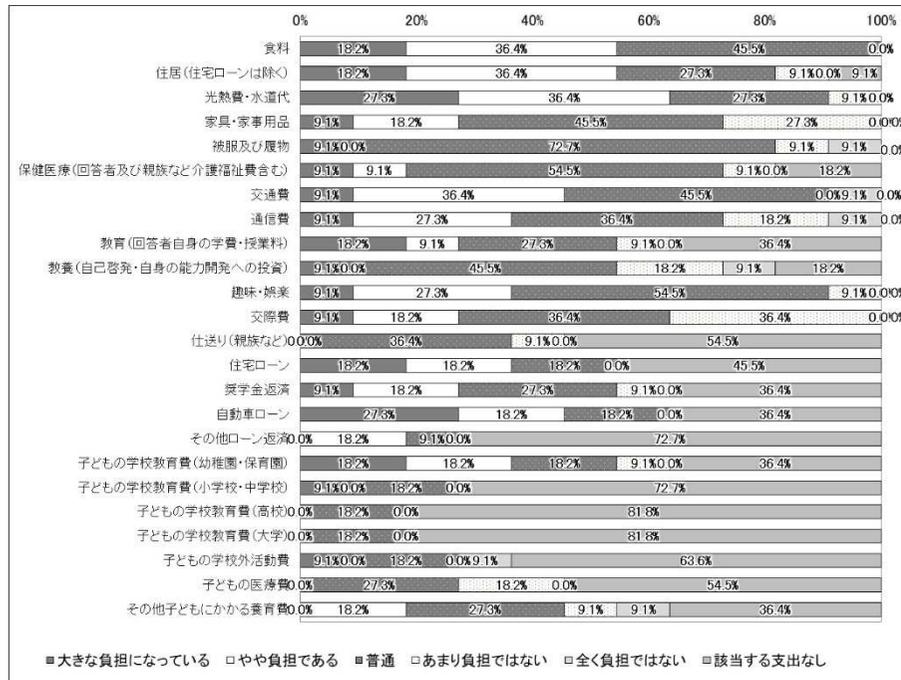
<18-29 歳>

<30-34 歳>

(n=22)

(n=48)

29

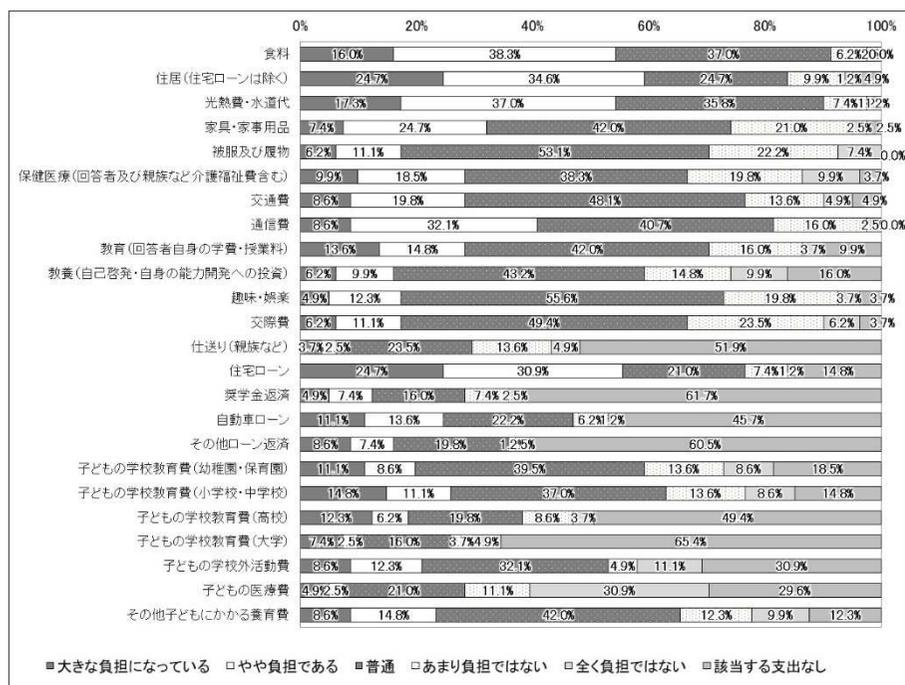


■大きな負担になっている □やや負担である ■普通 □あまり負担ではない □全く負担ではない □該当する支出なし

■大きな負担になっている □やや負担である ■普通 □あまり負担ではない □全く負担ではない □該当する支出なし

<35-39 歳>

(n=89)



iv. 子どもを有する既婚者の経済的負担状況（年収別）

- 子どもを有する既婚者の経済的負担になっている支出項目について年収別にみると、「400万円未満」で負担を感じている（「大きな負担になっている」、「やや負担である」）支出項目として、「住居（住宅ローンは除く）」が60.0%と最も高く、次いで「住宅ローン」（57.7%）、「光熱費・水道代」（56.1%）、「食料」（53.1%）で5割以上が負担を感じている。
- 「400万円以上 500万円未満」では「光熱費・水道代」（63.7%）、「食料」と「住居（住宅ローンは除く）」（54.6%）、「500万円以上 600万円未満」では「住居（住宅ローンは除く）」（80.8%）、「住宅ローン」（76.9%）、「光熱費・水道代」（73.1%）、「600万円以上 700万円未満」では「住居（住宅ローンは除く）」と「光熱費・水道代」（75.0%）、「食料」（65.0%）、「700万円以上 800万円未満」では「住宅ローン」（65.0%）、「住居（住宅ローンは除く）」（55.0%）、「光熱費・水道代」（50.0%）が上位3項目となっており、その他にも5割以上が負担を感じて支出項目がある。
- 一方で「800万円以上」では「住居（住宅ローンは除く）」（41.9%）が最も高いものの、それ以外は4割弱となっている。

### 既婚者の経済的負担になっている支出項目[年収別]

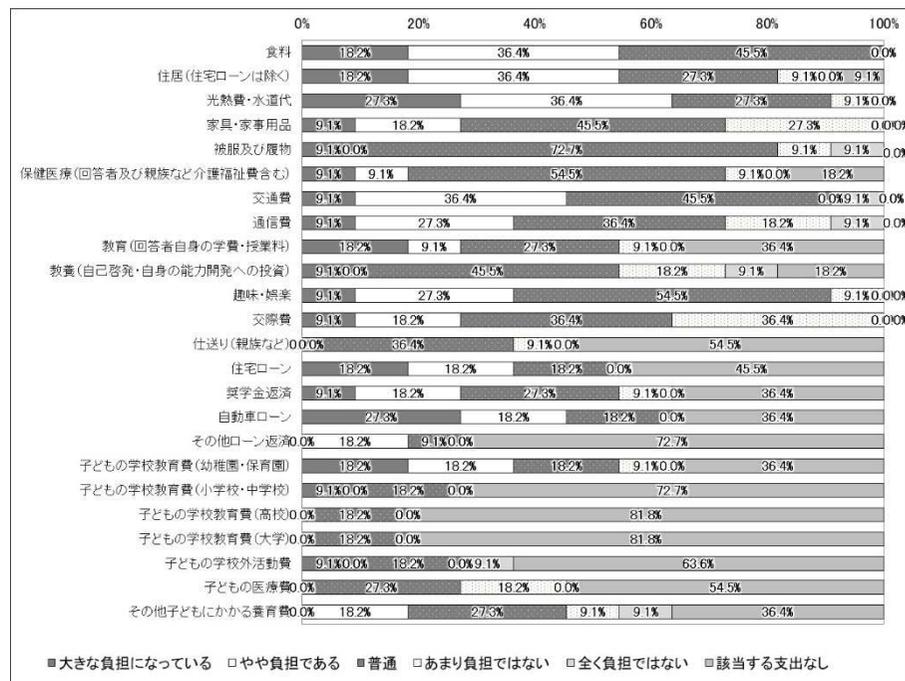
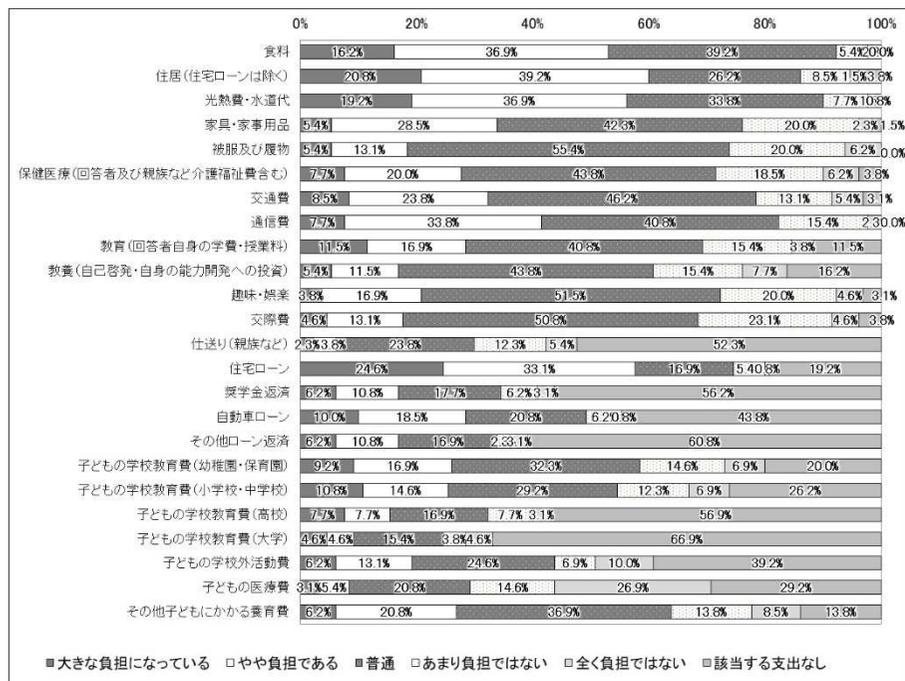
婚姻別【基本属性5】×世帯年収【出生率上昇8】×子どもの有無【出生率上昇9】×現在の経済的負担【出生率上昇11】

<400万円未満>

<400万円以上 500万円未満>

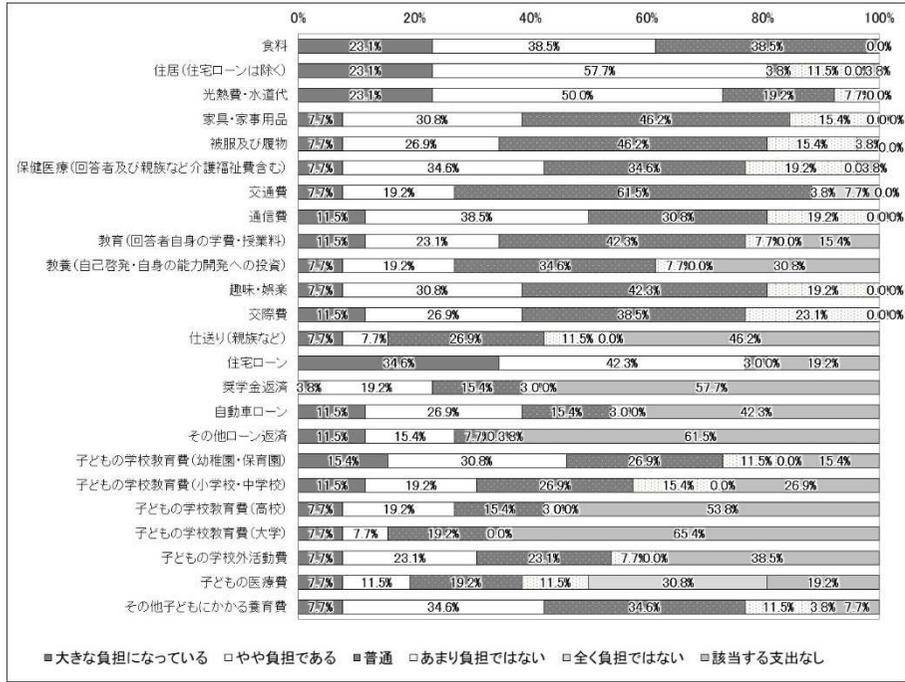
(n=26)

(n=21)



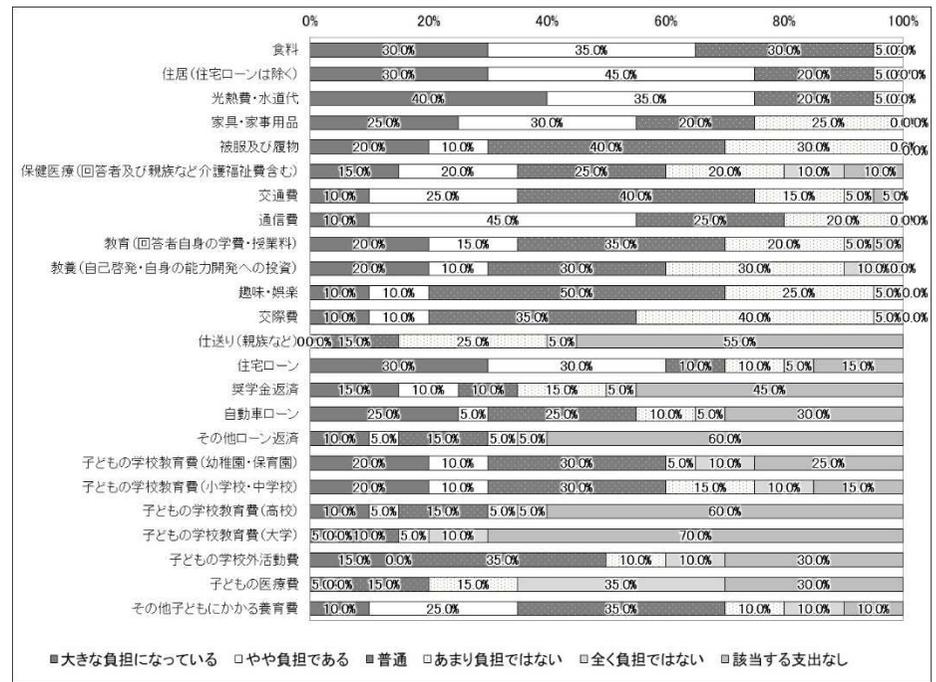
< 500 万円以上 600 万円未満 >

(n=29)



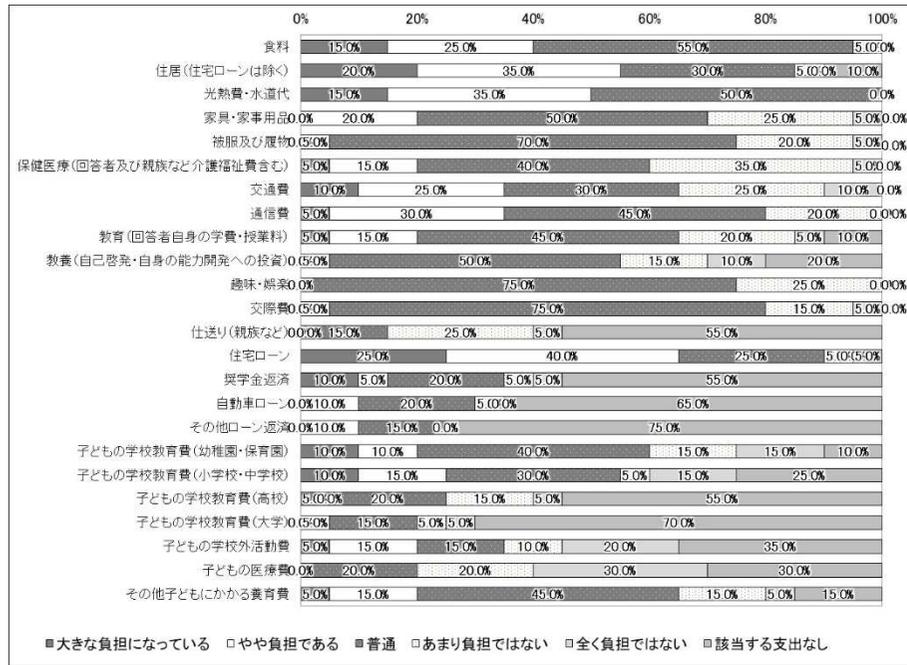
< 600 万円以上 700 万円未満 >

(n=25)



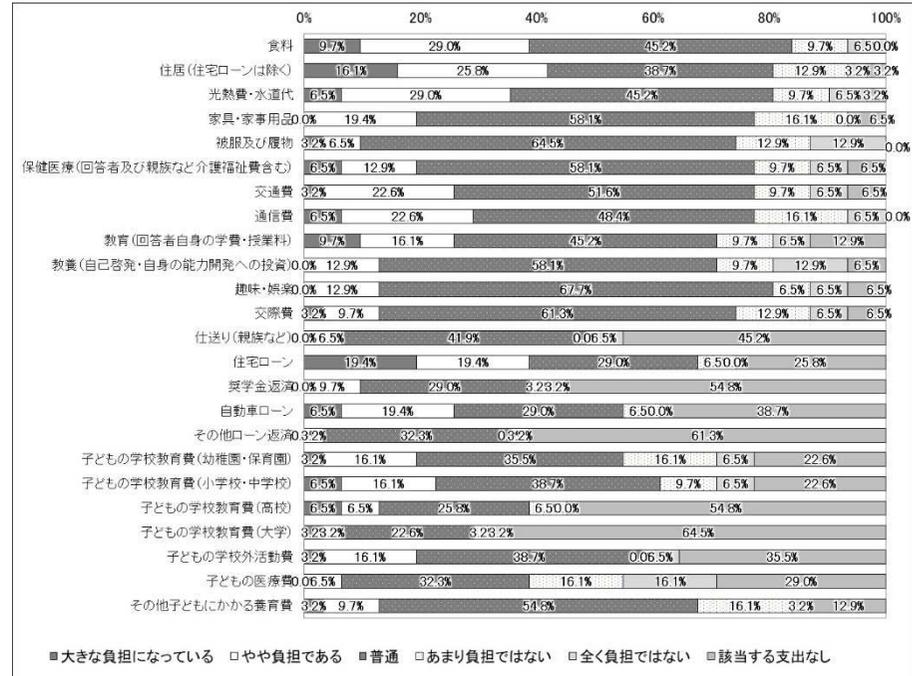
<700万円以上 800万円未満>

(n=23)



<800万円以上>

(n=35)



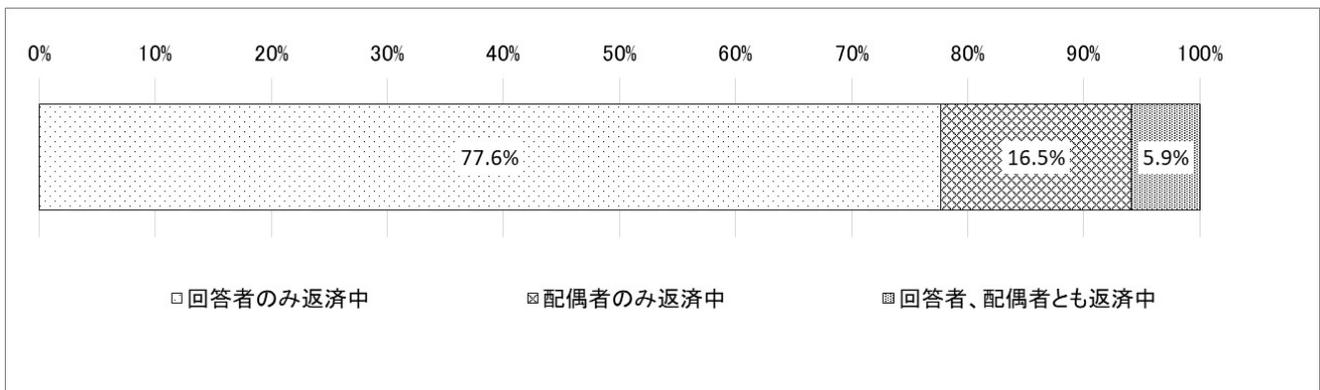
(4) 奨学金 [対象：奨学金返済者]

【奨学金 16】 奨学金の返済は行っていますか。

(1つだけ)

- 回答者の奨学金の返済は「回答者のみ返済中」が 77.6%と最も多く、次いで「配偶者のみ返済中」が 16.5%、「回答者、配偶者とも返済中」が 5.9%となっている。

山梨県結果(n=85)

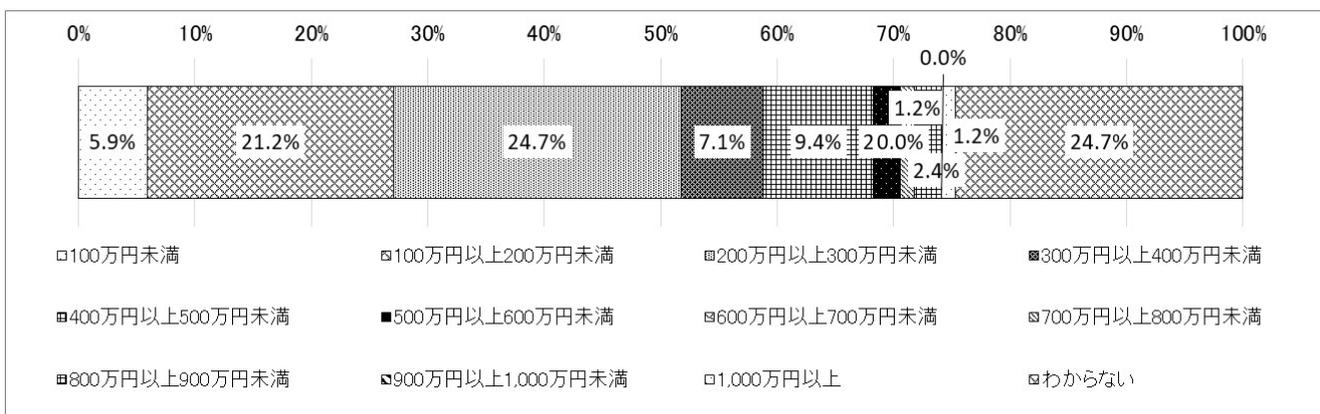


【奨学金 17】 奨学金の世帯における借入時の借入総額(返済済も含めた額)について、当てはまるものを次の中から選んでください。

(1つだけ)

- 回答者の世帯における奨学金の借入時の借入総額は「200 万円以上 300 万円未満」が 24.7%と最も多く、次いで「100 万円以上 200 万円未満」が 21.2%、「400 万円以上 500 万円未満」が 9.4%となっている。
- なお、「わからない」が 24.7%であった。

山梨県結果(n=85)

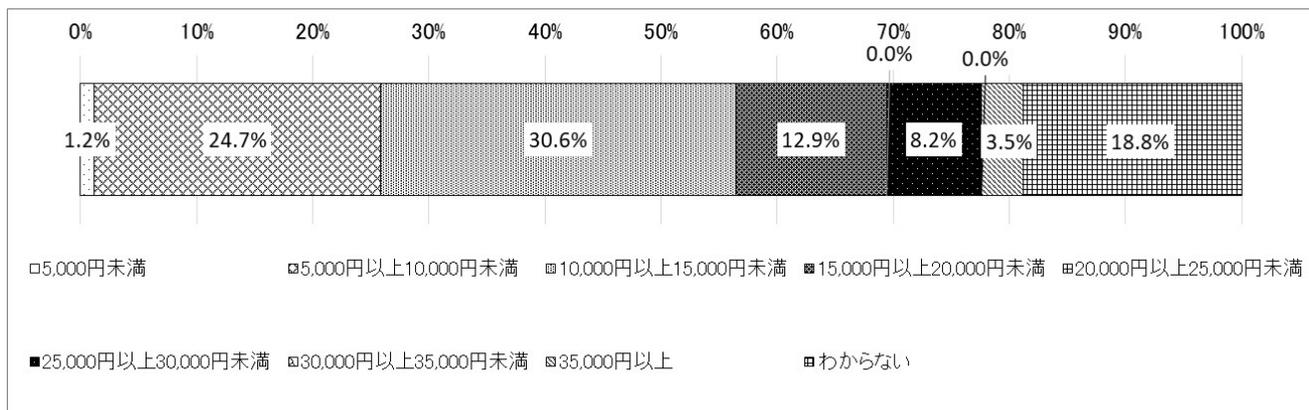


【奨学金 18】 世帯で支払われている奨学金の毎月の返済額について、当てはまるものを次の中から選んでください。

(1つだけ)

- 回答者の世帯で支払われている奨学金の毎月の返済額は「10,000円以上15,000円未満」が30.6%と最も多く、次いで「5,000円以上10,000円未満」が24.7%、「15,000円以上20,000円未満」が12.9%となっている。
- なお、「わからない」が18.8%であった。

山梨県結果(n=85)



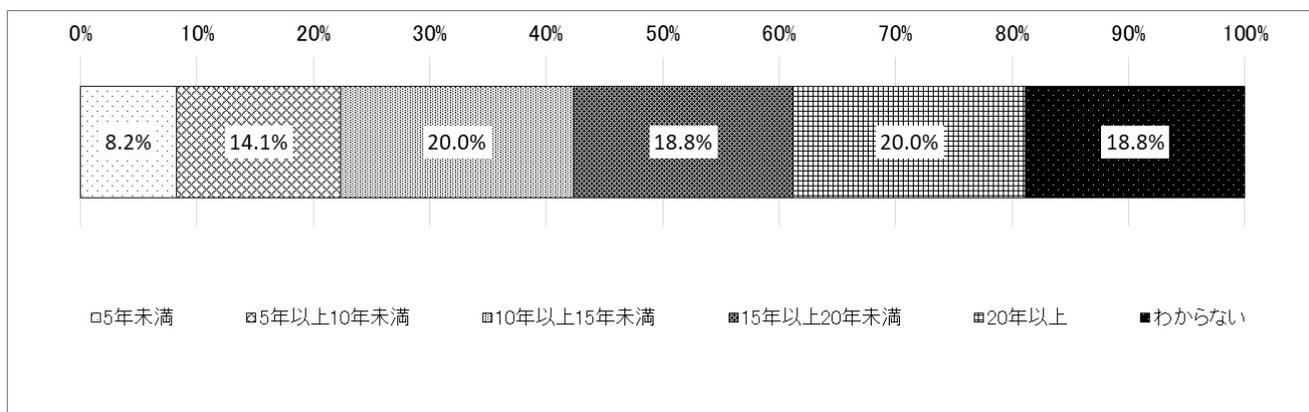
【奨学金 19】 返済期間は全体(総返済期間)でどの程度ですか。

※回答者、配偶者とも返済中の方は、返済期間が長い方についてご回答ください。

(1つだけ)

- 回答者の世帯における奨学金の総返済期間は「10年以上15年未満」と「20年以上」が20.0%と最も多く、次いで「15年以上20年未満」が18.8%となっている。
- なお、「わからない」が18.8%であった。

山梨県結果(n=85)



【奨学金 20】

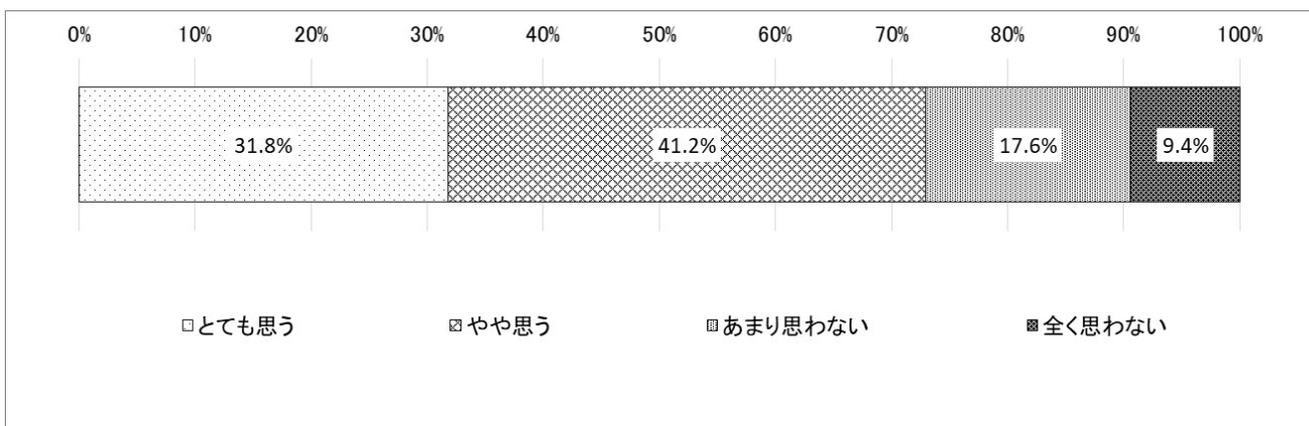
【未婚者の場合】奨学金の返済に係る支援があれば、今後の婚姻意思に影響があると思いますか。

【既婚者の場合】奨学金の返済に係る支援があれば、理想の子どもの人数を実現しようという意思に影響があると思いますか。

(1つだけ)

- 回答者の奨学金の返済に係る支援が、未婚者における婚姻意思や既婚者における理想の子どもの人数の実現への意思に影響があるかについては、「やや思う」が41.2%と最も多く、次いで「とても思う」が31.8%、「あまり思わない」が17.6%となっている。

山梨県結果(n=85)



(5) 住宅関係 [対象：全回答者]

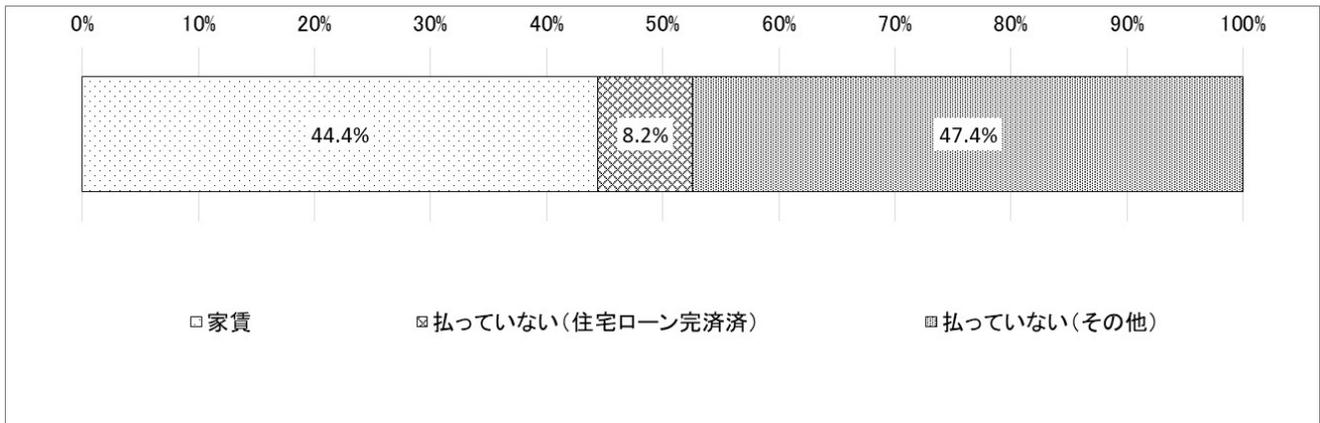
【住宅関係 21】 月々の住宅関係に要する支出について当てはまるものを選択してください。

※親世帯との同居は除く

(1つだけ)

- 回答者の月々の住宅関係に要する支出は「払っていない(その他)」が47.4%と最も多く、次いで「家賃」が44.4%、「払っていない(住宅ローン完済済)」が8.2%となっている。

山梨県結果(n=196)

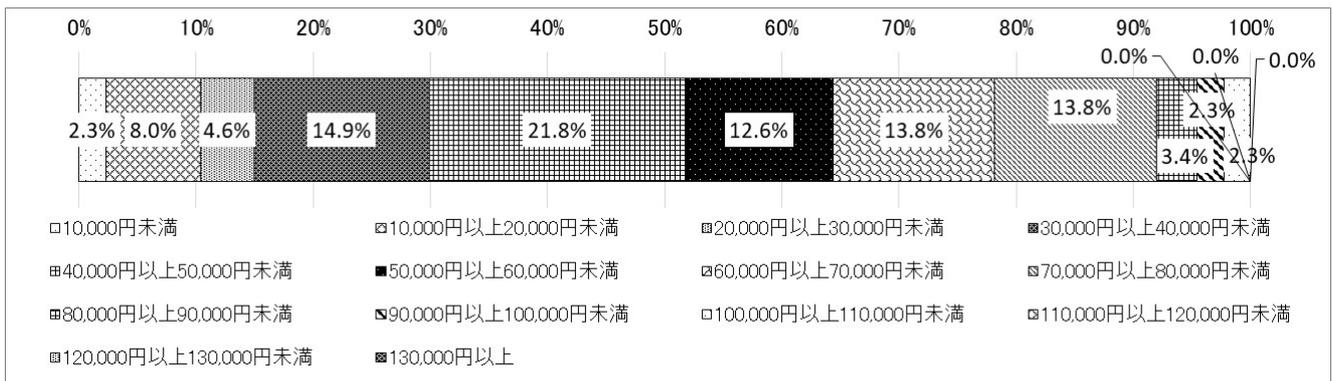


【住宅関係 22】 家賃の月々の支出(会社やその他住宅補助を除いた金額)を教えてください。

(1つだけ)

- 回答者の家賃の月々の支出額は「40,000円以上50,000円未満」が21.8%と最も多く、次いで「30,000円以上40,000円未満」が14.9%、「60,000円以上70,000円未満」と「70,000円以上80,000円未満」が13.8%となっている。

山梨県結果(n=87)



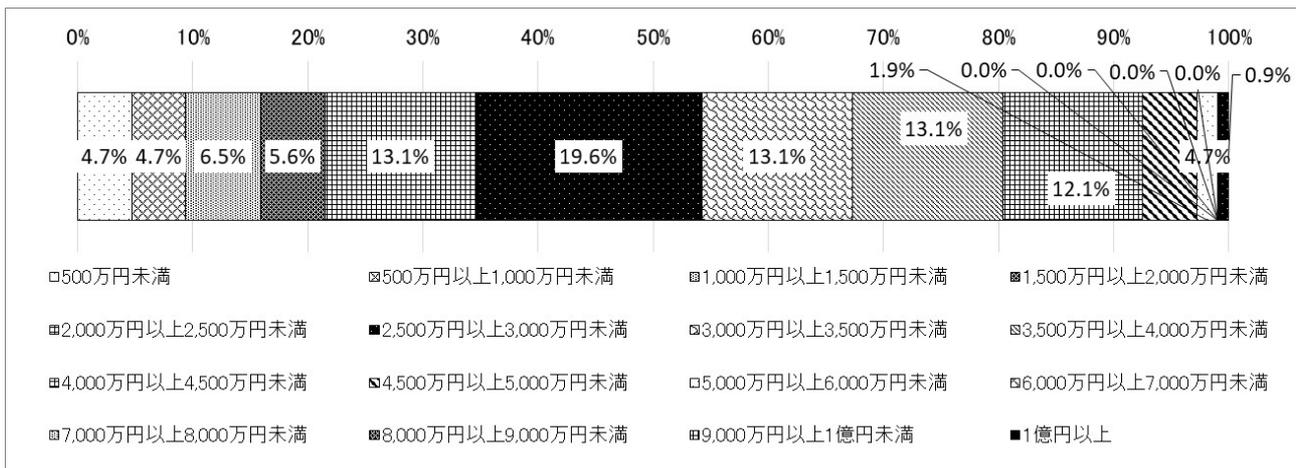
【住宅関係 23】 住宅ローンの契約当初の金額を教えてください。

※土地・家屋で金額の内訳が分かる場合には合わせた金額を教えてください。

(1つだけ)

- 回答者の住宅ローンの契約当初の金額は「2,500万円以上3,000万円未満」が19.6%と最も多く、次いで「2,000万円以上2,500万円未満」と「3,000万円以上3,500万円未満」、「3,500万円以上4,000万円未満」が13.1%となっている。

山梨県結果(n=107)

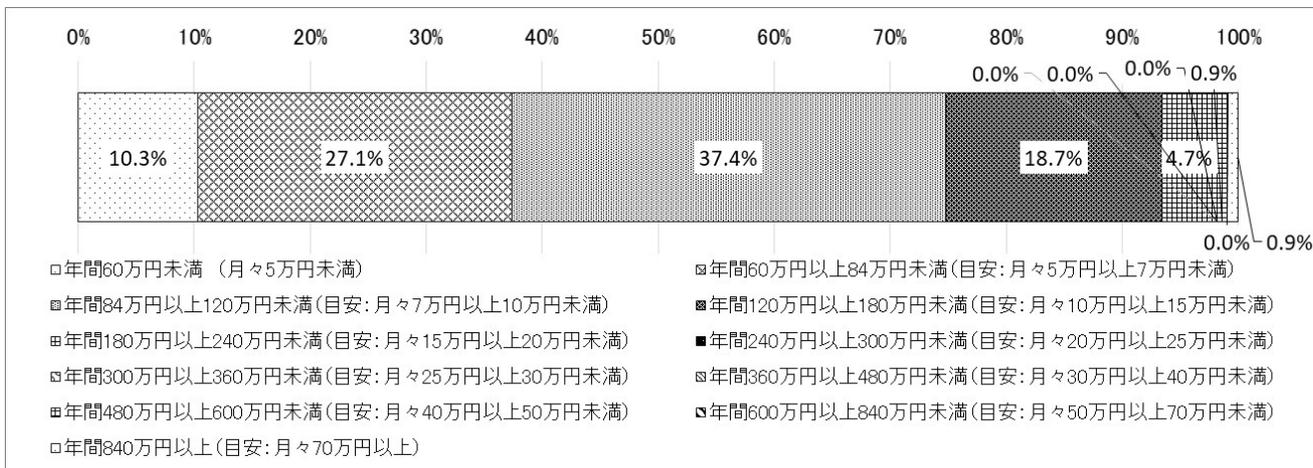


【住宅関係 24】 住宅ローンの1年ごとの支払い金額を教えてください。※ボーナス払い等の金額も含めてご回答ください。

(1つだけ)

- 回答者の住宅ローンの1年ごとの支払い金額は「年間84万円以上120万円未満（目安：月々7万円以上10万円未満）」が37.4%と最も多く、次いで「年間60万円以上84万円未満（目安：月々5万円以上7万円未満）」が27.1%、「年間120万円以上180万円未満（目安：月々10万円以上15万円未満）」が18.7%となっている。

山梨県結果(n=107)

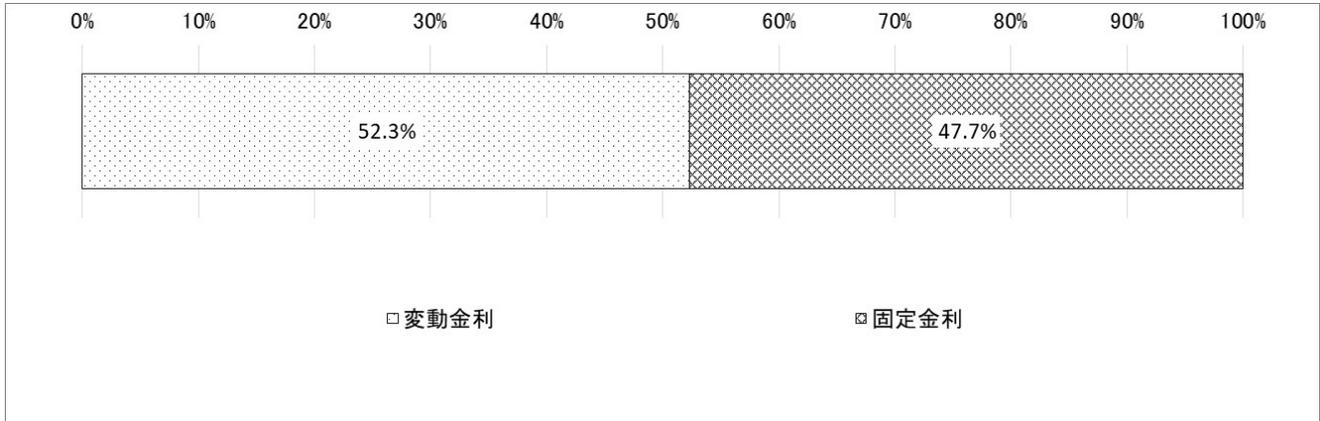


【住宅関係 25】 住宅ローンの金利形態について教えてください。

(1つだけ)

- 回答者の住宅ローンの金利形態は「変動金利」が52.3%、「固定金利」が47.7%となっている。

山梨県結果(n=107)

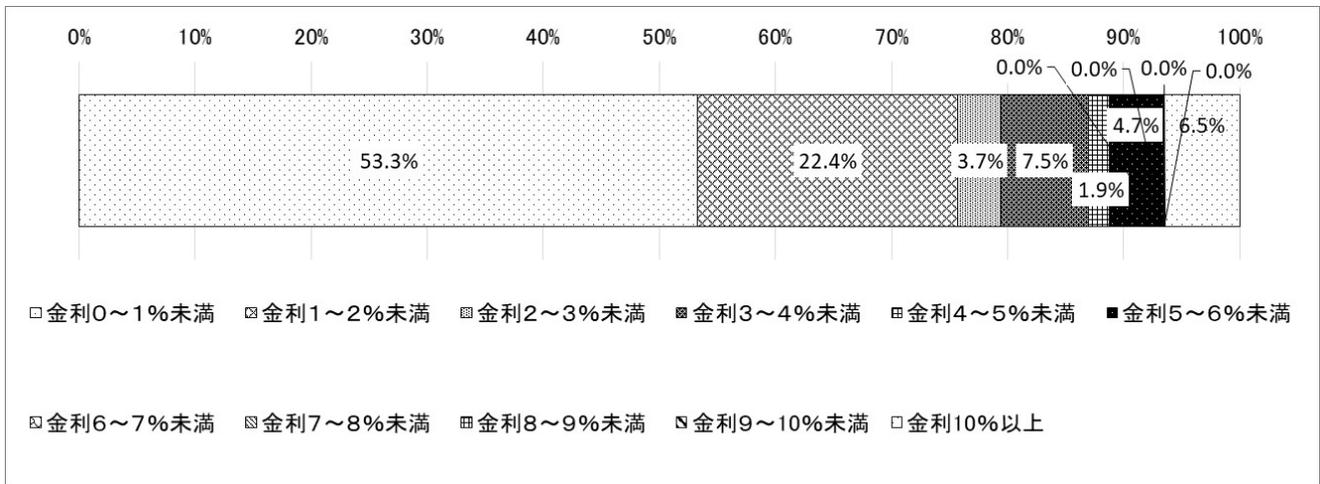


【住宅関係 26】 住宅ローンの現在の金利について教えてください。

(自由記述 小数点第二位まで)

- 回答者の住宅ローンの現在の金利を1%区分で分けると、「金利0~1%未満」が53.3%と最も多く、次いで「金利1~2%未満」が22.4%、「金利3~4%未満」が7.5%となっている。

山梨県結果(n=107)

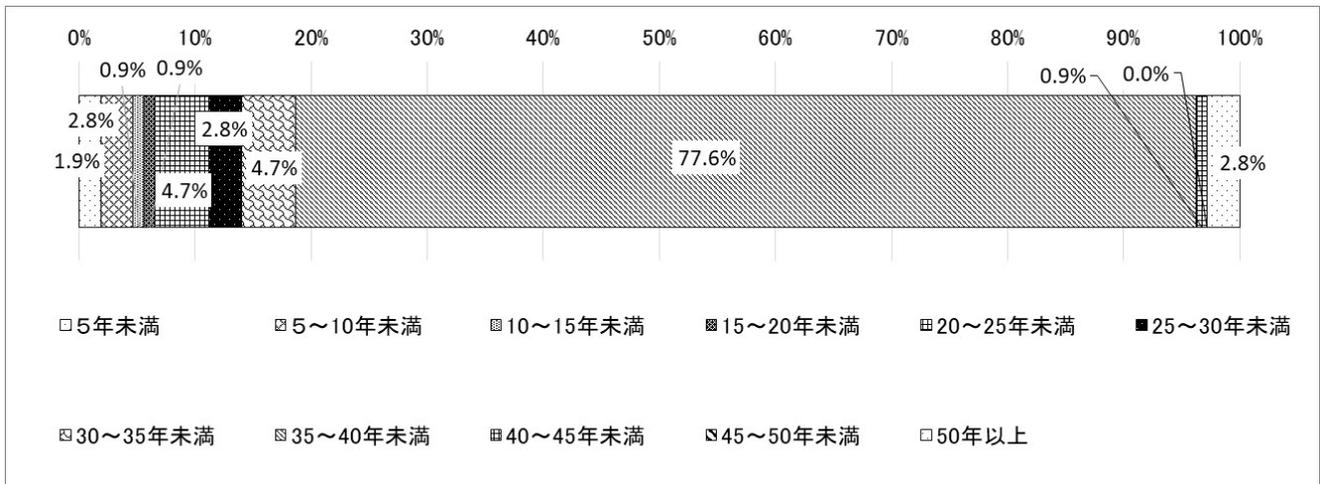


【住宅関係 27】 住宅ローンの契約当初の返済期間を教えてください。

(自由記述)

- 回答者の住宅ローンの契約当初の返済期間を5年区分で分けると、「35～40年未満」が77.6%と最も多く、次いで「20～25年未満」と「30～35年未満」が4.7%となっている。

山梨県結果(n=107)

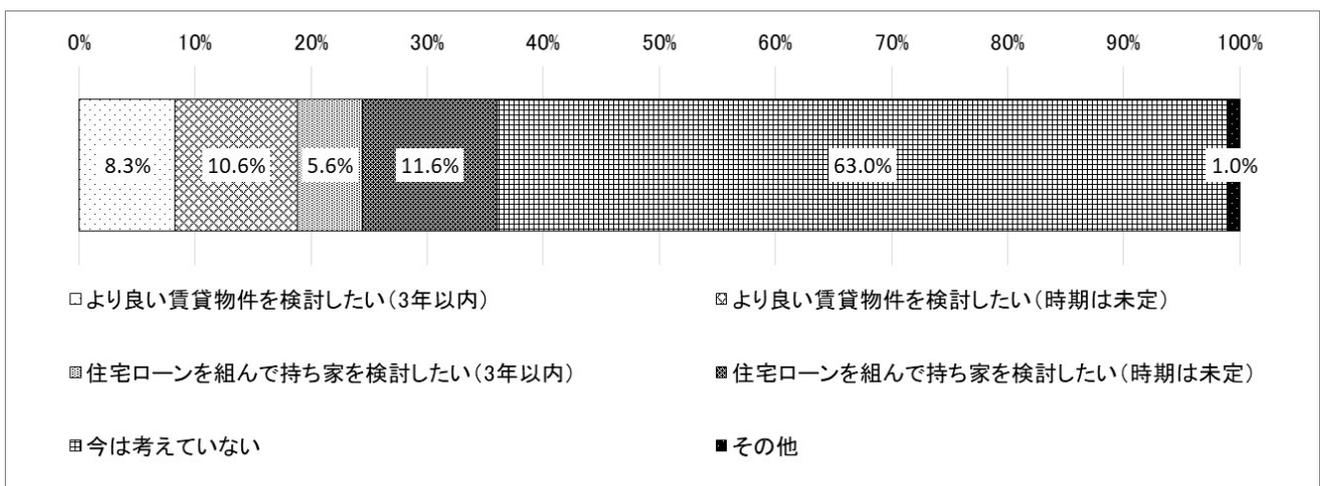


【住宅関係 28】 将来的に結婚や出産、子育てを見据えた際に、現状の住環境より良い環境を望みますか。

(1つだけ)

- 回答者が将来的に結婚や出産、子育てを見据えた際に現状の住環境より良い環境を望むかは、「今は考えていない」が63.0%と最も多く、次いで「住宅ローンを組んで持ち家を検討したい(時期は未定)」が11.6%、「より良い賃貸物件を検討したい(時期は未定)」が10.6%となっている。

山梨県結果(n=303)



【住宅関係 29】

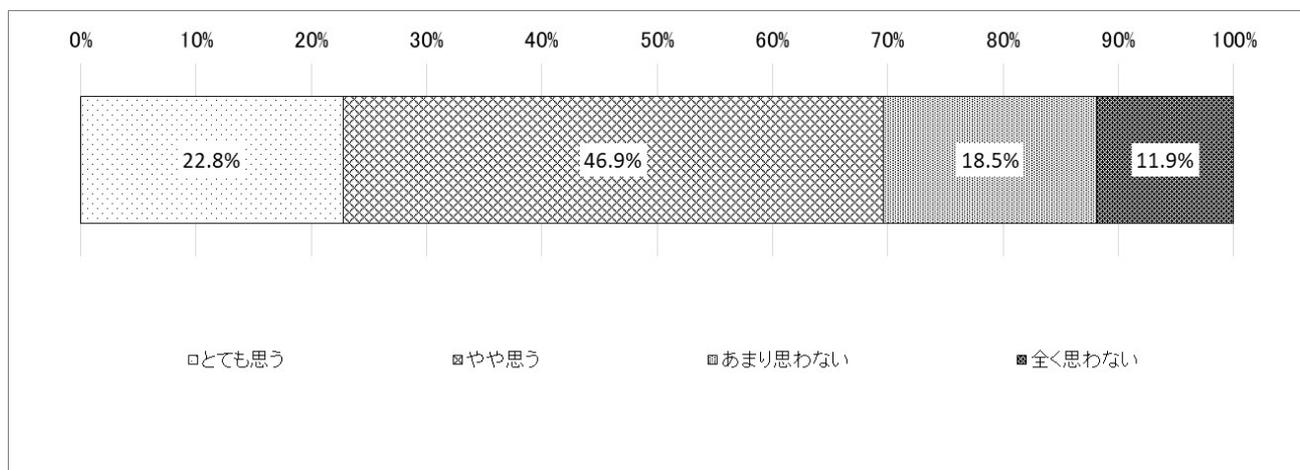
【未婚者の場合】家賃補助や住宅ローンの返済といった住居に係る経済的支援があれば、今後の婚姻意思に影響があると思いますか。

【既婚者の場合】家賃補助や住宅ローンの返済といった住居に係る経済的支援があれば、理想の子どもの人数を実現しようという意思に影響があると思いますか。

(1つだけ)

- 回答者が住居に係る経済的支援があれば、未婚者における婚姻意思や既婚者における理想の子どもの人数の実現への意思に影響があるかについては、「やや思う」が46.9%と最も多く、次いで「とても思う」が22.8%、「あまり思わない」が18.5%となっている。

山梨県結果(n=303)



標本数

- 未婚者と既婚者、及び奨学金返済者、住宅ローン返済者のセグメントについて、信頼区間係数 95% で、誤差率 10%以内となる、標本数と『第 1 章 アンケート調査』での回収数を下表に示す。

**図表 1-1 セグメントごとの標本数と回収数**

セグメント	母集団の算出方法		母集団（人口）	標本数	回収数
婚姻状況	未婚者	令和 2（2020）年国勢調査における年齢別人口における配偶関係（未婚・有配偶）による積算	98,203	96	144
	既婚者		57,722	96	159
奨学金	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和 4（2022）年度学校基本調査による、山梨県の高校卒業後の大学等進学率は 59.8%</li> <li>大学（昼間部）における奨学金の受給率は 49.6%</li> <li>以上から、18～39 歳人口 163,611 人の 6 割が大学へ、そのうちの 5 割が奨学金を受給していると想定</li> </ul>		49,083	96	85
住宅ローン	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和 4（2022）年度家計調査によると、世帯主が 39 歳までの持ち家率は 63.1%</li> <li>持家のうち住宅ローンを支払っている世帯の割合は 29 歳までは 98.6%、30～39 歳は 99.5%でほぼ 100%</li> <li>以上から、18～39 歳の住宅ローン契約者は 18～39 歳人口 163,611 人の 6 割と想定</li> </ul>		98,167	96	107

- 各セグメントのうち、奨学金に関しては『第 1 章 アンケート調査』での回収数が少ないことから、『第 1 章 アンケート調査』による Web アンケートとあわせて本県が独自に実施した紙面アンケートによる回収結果も踏まえて、分析・解析を行う。

**図表 1-2 セグメントごとの標本数と回収数**

セグメント		母集団（人口）	標本数	回収数	
				Web アンケート	本県独自調査
婚姻状況	未婚者	98,203	96	144	158
	既婚者	57,722	96	159	156
奨学金		49,083	96	85	87
住宅ローン		98,167	96	107	76